

第1号様式（第8条関係）

令和 5年 4月 7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議會議員

山崎 まゆみ

令和4年度 政務活動費に係る収支報告について

東員町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項（第2項）の規定により、別紙のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和4年度 政務活動費收支報告書

議員名 山崎 まゆみ

1 収 入 政務活動費 156,863 円

2 支 出 (単位:円)

科 目	支 出 額	備 考
調査研究費	1,200	「川崎市子ども夢パーキング」実践報告 ドキュメント映画視聴
研修費	140,184	JIAM 研修ほか
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	15,479	書籍購入、新聞購読料など
広報費	0	
事務費	0	
合 計	156,863	

3 残 額

0 円

注) 備考欄には、主たる支出内訳を記載する。

注) 添付書類 領収書の写し

参考様式 2

領 収 書 等 添 付 一 覧 (令和4年度)

使途項目	調査研究費		
年月日	支 出 内 容	支 出 額	整理番号
R5.2.26	「川崎市子ども夢パーク」実践報告、 ドキュメント映画視聴 参加費	1,200 円	1
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
合 計		1,200 円	

※ 支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、「領収書等貼付用紙」の表紙として活用してください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	調査研究費
参考様式2の「整理番号」	1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和5年2月26日

<領収書>

山崎 様 2月26日

月分会費	1300円×名	
月分会費	800円×名	
子育ち広場会	1300円×名	1300
合計		1300 円

子育ち広場inドロップ
四日市市富田1丁目8-11
TEL/FAX 059-363-3728



* 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	「川崎市子育ち広場パーク」の実践報告、ドキュメント映画 映画視聴料「ゆめパのじかん」
按分率等 (按分の支出の場合)	
その他	

〔政務活動費の手引き P10 (2)〕

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

調査研究費 報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	<u>令和5年2月26日（日）（1日間）</u>
研修（視察）先	四日市市あさけプラザ
目的（テーマ等）	児童館、児童遊園について ～「川崎市こども夢パーク（通称ゆめば）」実践報告、 ドキュメント映画視聴 「ゆめばの時間」
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ • 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

<調査研究概要・内容>

◎「川崎市子ども夢パーク」(通称「ゆめパ」)とは
「川崎市子どもの権利に関する条例」(平成12年12月施行)をもとに、平成15年7月に市民参画で作られた。工場跡地利用で約1万m²の広大な敷地の児童館と児童遊園(プレーパーク)、子どもの遊び場。

園内はエリア別に

- プレーパーク…水や泥で自由に遊べる、外のスペース
- スタジオ…バンドや楽器の練習に使える防音スタジオ
- ゆるり…乳幼児親子さん優先の遊ぶ部屋
- 全天候広場“たいよう”…雨の日もOK。屋根付きスポーツエリア
- 交流スペース“ごろり”…ごろりと自由に過ごせるカーペット敷きの部屋
- 創作スペース…机といすが置いてある、1階の屋根有り、壁なしスペース
- 屋上広場…日当たりの良い屋上スペース
- ログハウス…プレーパークエリアでちょっと休憩がしたい時に利用できる

◎「フリースペースえん」とは

「川崎市子ども権利条例」をもとに川崎市と認定NPO法人フリースペースたまりばの協働事業として、日本でも珍しい公設民営のフリースペースとして誕生した。生涯学習(社会教育)の視点にたち、学校外で多様に育ち、学ぶ場となっている。

主として学校の中に、自分の居場所を見出せない子どもや、若者たちのスペース。押し付けになるようなプログラムではなく、「いつ来て、いつ帰るか」「どのように過ごすか」は自分で決める。

活動の中身はミーティングで話し合って決める。やってみたいことがあれば、「この指とまれ」で仲間集めをする。「参加する、参加しない」は自分で自由に選ぶ。利用には登録が必要で、面談の後、2週間の体験期間すごしてから、登録して入会する。

※子どもが自分の責任で自由に遊び、学び、創り続けていく、子どもの居場所であり、活動拠点となる施設。入場料は無料。

家庭でもなく、学校でもなく、第3の子どもの居場所。

公設民営で運営している先進的なモデルとして、全国の自治体から注目を集めている。

◎川崎市は、なぜ「子どもの権利条例」をつくったのか？

背景として京浜工業地帯を有する川崎市は高度経済成長期に工場がたくさん立ち、低賃金の労働者が増え、外国籍の労働者も多く、もともと人権にかかる問題が多いいきであった。さらに公害による病気も深刻になり、労働環境と人権の意識が高くなっていた。過酷な受験戦争が進む中、川崎市で1980年(昭和55年)に浪人生が両親を金属バットで殺傷してしまう事件があり、地域の中でまち

づくりや教育を考えなければならないという動きが出てきた。1989年(平成元年)に国連「子どもの権利条約」が採択され、1994年(平成6年)に日本が批准した。それを活かしたまちづくりをしようという動きから、「川崎市子どもの権利条例」つくりにつながって、2000年(平成12年)12月に策定された。

条例の中身…●安心して生きる権利●ありのままの自分でいる権利●自分を守り、守られる権利●自分を豊かにし、力づけられる権利●自分で決める権利●参加する権利●個別の必要に応じて支援を受ける権利

◎なぜ「川崎市子ども夢パーク」をつくったか?

2000年に「殺しの体験がしたかった」と言って17歳の少年が高齢者を殺害した事件、九州でも17歳の少年によるバスジャック事件。その当時世間で話題になつたのは「中高生が何を考えているかわからない」ということもあり、中古言う製の居場所をつくるなければならないというのが原点で、「川崎市子ども権利条例」の27条は“子どもの居場所”についての条文にもなり、それを具現化しようということを話し合つた。

その当時、川崎市内の小中学生の不登校は1,300人もいた。地域の中に子どもの居場所がなく、どこに行けばいいのか?公的施設にはそれだけの不登校生徒の受け入れができず、年齢や障害の枠を取り払い、来たい人は誰でもいつでもいける、無料のスペースをつくろうということになり、子どもたちも一緒になって「夢パーク」をつくつた。

不登校の子が通う「フリースクール」のスペースと、学校に行ってないに関係なく、誰もが自由に行けるプレーパークを同じ敷地内に作った。

◎ドキュメンタリー「ゆめパの時間」の視聴

裸足で土を踏み、泥だらけになって遊ぶ子や、火おこしをしたり、工具を使ってモノづくりをして遊んだり、子どもたち自身がそれぞれ何かに挑戦している様子。今の社会では、ほぼ許されないようなことも、子どもたちに任せてさせている様子。

学校外の居場所で安心して過ごすことができ、好きなことをしながら様々なことに出会い、経験することで、それが多様な学びになる。五感をフルに使い、「火」・「水」・「土」などで思いっきり子どもが遊ぶ。そんな子どもたちと共に自由保育の人たちが一緒に過ごす姿。

子どもから大人まで様々な年齢や職業、考えを持った人たちがいる。

<所感・活用>

官民協働で作った「川崎市子どもの権利条例」に基づき建てられた「川崎市子ども夢パーク」は、いつも子どもたちをまん中に置いていて、公設民営で民間団体が運営している。安心安全な場で自由に伸び伸び過ごして、子どもたちがそれぞれに挑戦していくこと。その中で子どもたちは悩みや不安をはねかえす力をつけている様子には感動させられました。コロナ禍、緊急事態宣言発令中、全国の小中学校が一斉休校になる中でも、子どもたちを受け入れ続けるために、職員が会

議を重ねどんな風にしていくかの話し合いでスタッフに交じって子どもたちも話し合っていたこと。好きや楽しいだけでなく、厳しさや責任も学ぶ子や、子どもの声を聴くという姿にも感銘を受けました。四日市市の「海蔵子どもパーク」をつくることを目指す保護者のグループの積極的な意見も意見交換の場で聞き、感心しました。

東員町にも「みんなと一歩ずつ未来に向かっていく東員町子ども権利条例」を策定に子どもたちも参加して、平成27年に制定しました。東員町の子どもたちが自主性をはぐくみ、互いを尊重しながら、自立して成長していくように、条例策定後の検証もしながら、子育て支援施策を進めています。

子育てに困難感を抱く子育て中の若い親の相談を私自身受けたこともあります。「児童館や児童遊園、プレーパークが東員町にあると良い」という要望も聞いています。未満時の子育て拠点は「子育て支援センター」として整備されていますが、それ以上の年齢の子が利用できる子育て拠点の整備も今後検討していく必要があると考えられます。

今回の「川崎市子ども夢パーク」の実践報告は、我々大人にも大切なモノを思い起こさせてくれました。大事なことは「やってみたい」を大切にし、原則として「禁止の看板」は立てない遊び場で、例えば木登りしたいから登らせてよ、運悪く落ちて骨折したとしても「しょうがないじゃん、じぶんがやりたかったのだから」ということで『ケガと弁当は自分持ち』で、子どもがやってみたいことは禁止しない。とても危険な時だけの声かけで、もちろん大人は見守っている、そんな徹底した方針にも感心しました。現代は過剰なほど「怪我をさせてはいけない」という大人で、子どもが自分で判断してケガをしないように気を付けるとか、危険を自分で察知する力が弱くなっています。そしてそれは子どもたちの挑戦できる機会をなくしているとも言えます。成長していきなりの失敗により、大きな挫折感を味わう子。失敗を乗り越える力、できないことも受け入れる力を育てるの大切さを感じました。完璧を求める子育ては、子どもや若者を苦しめてしまっています。

今回学んだ子ども、子育てに大切なエッセンスを、町内皆さんと意見交換しながら、東員町の子どもが愛し、愛され、笑顔で暮らせる東員町を目指していきます。



後援：四日市市、四日市市・朝日町・川越町・木曽岬町・東員町 各教育委員会

主催：子育ち広場・ドロップ in



「やつてみたい」が
いっぱいある。

重江良樹 監督作品
(『さとにきたええやん』)

ゆめ、♪ のじかん



yume-no-jikan.com



神奈川県川崎市にある子どもたちの居場所「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめバ」。
遊んで、転んで、立ち止まって……誰もが安心して自分らしく過ごせる居場所で育まれる、
子どもたちのかけがえのない“じかん”を情感豊かに描いた珠玉のドキュメンタリー。

監督・撮影：重江良樹 構成・プロデューサー：大澤一生 編集：辻井謙 音楽：見江泰央 制作協力：認定NPO法人フリースペースたまりば
撮影協力：川崎市、川崎市子ども夢パーク、公益財團法人 川崎市生涯学習財团、夢パーク支援委員会、ちいくれん（地域で子育てを考えよう道舎会）、夙暮建設株式会社
製作：ガーラフィルム、ゾンデライコ 実行：ウッキー・プロダクション、リガード 記念：ゾンデライコ 2022/日本/90分/日本語/カラー/ドキュメンタリー
助成：◎ 文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）独立行政法人日本芸術文化振興会 推進：厚生労働省社会保障審議会

2023年2月26日（日）あさけプラザ（四日市市下之宮296-1）第1小ホール

①10:00～②12:30～③15:00～①②託児あり（予約制）

17:00～18:00 第1小ホールにて ふりかえりのじかん（感じたことを話し合いましょう！）

何をしてもいい。何もしなくてもいい。 きみは、きみのままでいい。



「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万m²の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。くるくると踊る子。小さな子どもを連れた自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集っています。

ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、時には学校や勉強のことが気になる子も…。新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始め——。

子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。



いまを生きるすべての子どもと、 かつて子どもだった大人に贈る、生きる力を育む“じかん”

2020年度の日本の児童や生徒の自殺者数は初めて400人を超え、小中学生の不登校児はおよそ20万人となりました。社会環境の大きな変化に大人たちが戸惑い、不安を感じている時こそ必要となる“子どもの居場所”。本作の撮影中、2020年3月に新型コロナウイルスの感染拡大により全国の学校が一斉休校となった時もゆめパは子どもたちを受け入れ続けました。

家庭でもない、学校でもない、第3の子どもの居場所を公設民営で運営している先進的なモデルとして、全国の自治体から注目を集めるゆめパの日々を3年にわたり撮影したのは、前作『さとについたらええやん』の重江良樹監督。プロデューサーは『さとについたらええやん』『隣の人は』の大澤一生、音楽とナレーションをあたたかな声が魅力のシンガーソングライター・児玉奈央が務めています。

遊ぶこと、学ぶこと、休息すること、人と共にあること。その輝きも揺らぎも、子どもたちのかけがえのない“じかん”は、きっと大人たちにも大切なものを思い起こさせてくれることでしょう。



「川崎市子ども夢パーク」とは

神奈川県川崎市高津区にある子どものための遊び場。2000年に制定された「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに市民参画で作られた、工場跡地を利用した約1万m²の広大な敷地にはプレーパークエリア、音楽スタジオや作スペース、ゴロゴロ過ごせる部屋のほか、学校に行っていない子どものための「フリースペースえん」が開設されている。乳幼児から高校生くらいまで、幅広い年齢の子どもが利用している。
<https://www.yumepark.net/>



ゆめパ
のじかん

@yume_no_jikan @yumepono_jikan yume-no-jikan.com

2023年2月26日(日) あさけプラザ 第1小ホール (上映時間 90分)

①10:00~ ②12:30~ ③15:00~ ふりかえりのじかん 17:00~
(①②託児あり 一人1000円(二人目より500円) 申し込み締め切り2/16(木))



チャリティ協力金：大人1200円 18歳以下800円

【お問い合わせ・お申込み】 子育ち広場.:ドロップ in 四日市市富田1丁目8-11

TEL/FAX: 059-363-3728 Mail: smile_dropin@yahoo.co.jp

火曜日～金曜日 10:00～17:00、土曜日 10:00～12:00

* この映画の収益金はチャイルドヘルpline MIEネットワークに寄付させていただきます。



〔議員氏名:山崎 まゆみ〕

領収書等添付一覧(令和4年度)

使途項目名	研修費	支出	整理番号
年月日	支出内容	支出	整理番号
R4.4.5	JIAMオンライン研修「第1回市町村議員特別セミナー」受講料振込	2,000	1
R4.6.23	JIAM研修「世界情勢から我が町の未来…」受講料振込	6,900	2-/
R4.7.4~7.5	JIAM研修「世界情勢から我が町の未来…」交通費(往復)	7,622	2-2
R4.8.25	JIAM研修「これからの子育て支援…」受講料振込	10,200	3-/
R4.8.29 ~8.31	JIAM研修「これからの子育て支援…」交通費(往復)	7,622	3-2
R4.9.20	「第14回京都大学公共政策大学院・JIAM連携セミナー」 交通費(JR・新幹線の往復切符)購入	12,700	4-/
R4.9.22	「第14回京都大学公共政策大学院・JIAM連携セミナー」往復交通費/ 三交バス(自宅⇒桑名)、地下鉄(京都⇒今出川)	1,740	4-2
R4.9.22	JIAM研修「トップマネジメントセミナー～災害や感染症な どの対応と質の高い…」受講料振込	6,900	5-/
R4.9.29	JIAM研修「市町村議員研修～人口減少社会における議 会」受講料振込	10,200	6-/
R4.10.3~ R4.10.4	JIAM研修「トップマネジメントセミナー～災害や感染症な どの対応と質の高い…」交通費(往復)	7,622	5-2
R4.10.11~ 10.13	JIAM研修「市町村議員研修～人口減少社会における議 会」交通費(往復)	7,622	6-2
R4.10.28~ 10.30	日本女性会議2,022in鳥取県倉吉市～誰もが共に笑顔に なれる夢ある未来～交通費(往復)	25,974	7
R4.10.24	JIAMオンライン研修「町村議員特別セミナー」受講料振込	2,000	8
R4.12.21	JIAM研修「図書館とまちづくり」受講料振込	10,200	9-/
R5.1.4	JIAMオンライン研修「市町村議員研修特別セミナー ～ペー シックサービス宣言について、ヤングケアラーについて、ひきこもりについて～ 受講料振込	2,000	10
R5.1.10~1.12	JIAM研修「図書館とまちづくり」交通費(往復)	7,622	9-2
R5.1.26	「令和4年度 全国町村議会広報クリニック」受講における往復の交通費支払い (高速バス 乗車/スカイチケットに往復代金の支払い)	8,200	11-/
R5.2.14	「令和4年度 全国町村議会広報クリニック」受講における往復の 交通費支払い(三交バスと東京地下鉄の運賃往復)	3,060	11-2
合計		140,184	

支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙として活用してください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	/

※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和 4年 4月 5日

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 2,000 円

但し、

令和4年度第1回市町村議会議員特別セミナー(オンライン)

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和4年4月5日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 115

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	2-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年6月23日	

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 6,900 円

但し、

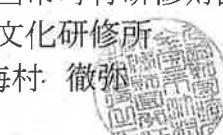
令和4年度世界情勢からわがまちの未来をつくる～トップマネジャーの方のために～

の 研修に要する経費
として上記の金額を領収いたしました。

令和4年6月23日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 梅村 徹弥



領収書No. 114

〔政務活動費の手引き P10 (2)〕

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	令和4年4月11日（月）～4月12日（火） 【 2 日間】
研修（視察）先	《オンライン》 全国市町村国際文化研修所（JIAM）
目的（テーマ等）	JIAM オンライン研修「第1回市町村議会議員特別セミナー ～政策デザイン、少子化、SDGs、まちづくり～
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	① 有 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名： 山崎 まゆみ 〕

【研修概要、内容】

4月11日（月）第1講義

「地方行政と政策デザイン」

講師；杉本達治氏

総務省退官後、現福井県知事

◎県政運営の基本原則

- 県民主役 ●長期ビジョンに向けた若者とのワークショップ
- 職員クレド…「現場」「挑戦」「協働」「創意工夫」「効率化」
- OODA（ウーダ）ループ…徹底現場主義で
　　「課題発見」→「実行」→「改善」を早く回す。
- 政策オープンイノベーション…「長期視点」「創造性重視」「機動的視点」「総合力發揮」
- 政策デザイン…ユーザー視点、全体を俯瞰、手法最適化、
　　価値創造（楽しさ、豊かさ、共感など）
　　「EBPM」の活用—経験からデータへ

◎政策デザインの実例

- 新型コロナ感染症対策 ●人口減少対策 ●SDGs推進
- 分散型国家への転換…子育て支援予算額をR3→R4で
　　20億→40億円
　　「子だくさん福井プロジェクト」
　　地域全体で子育てを支える取り組み
- ふくい型林業経営モデル「儲ける林業」「稼げる林業」で活性化
- 交通安全家族…反射材の配布、啓発

4月11日（月） 第2講義

「少子化問題の日本の特徴」

～日本の少子化対策は、なぜ失敗したのか

講師；山田 昌弘氏

中央大学文学部社会学専攻 教授

★少子化は「日本社会の構造」にかかわる問題！！

- ①少子化は結婚・出産だけの問題ではない（格差社会、男女共同参画の停滞）
- ②親の意識が変わらない

★近年の未婚化の理由

- ①経済不安 ②出会いの減少（正社員の長時間労働、非正規化）
- ③恋愛へのあこがれ喪失（楽しいモデルがない、面倒、お金の無駄）

★★★対策として

- ①若者に結婚しやすい条件を整える（特に収入が不安定な男性への支援）

=結婚、恋愛サポート

- ②中高年独身者が孤立せずに生活できる条件を整える（居場所作り、中高年婚活、グループホーム）

4月12日（火） 第3講義

「行動する SDGs～ごみからのアプローチ～

講師；浅利 美鈴氏

京都大学大学院地球環境学堂 准教授

京都超SDGsコンソーシアム

- ◎『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』

- ◎『京都大学プラ・イド宣言』

～～減らしながら考え、考えて減らす～～

- プラスティック問題の本質は？一レジ袋やストローだけが問題なのか

- なぜ皆の意識・行動が揃わないのか

- プラスチックとの持続可能な付き合い方を考える→プラスチックの複雑性と多面性ができるだけ多くの人に認識してもらう。

- ◎カーボンゼロ時代のライフスタイルと気候変動への意識と行動

・食品ロス削減 ・野菜を増やした食生活 ・テレワーク推進

・断熱リフォームの実施 ・再エネ電気への切り替え

4月12日（火） 第4講義

「歴史的資源を活用した観光まちづくり」

講師；他力野 洋

バリューマネジメント（株）

代表取締役

- ◎日本国内の歴史的建造物は約150万棟。→老朽化・財源不足のために、維持困難な状況

- ◎歴史的建造物の保全＆収益化を同時にを行い、その建造物が持続可能な収益サイクルを身に着けて、自走できるようにする。

- ◎サステイナブル・ツーリズム

「持続可能な観光」国連世界観光機関では、持続可能な観光を「旅行者、産業、環境および地域コミュニティのニーズを満たしながら、現在と将来にわたる経済・社会・環境への影響を十分に考慮した観光」と定義。

【所感と今後の活用】

本研修では、まちづくりをテーマに様々な分野の第一線でご活躍の講師陣による講演で、改めて地域を見つめ直すとともに、地方議員に求められる役割について多角的に考えることができました。福井県知事の講演において、先進的な県の

動きを知る機会は貴重で、とても勉強になりました。

特に当研修受講前から、最も関心が高く、期待が大きかったのが、「婚活」や「パパ活サイト・シングル」等の造語を発案し家族の在り方や若者の生き方の研究や発信で著名な山田先生の講演であり、貴重な示唆をいただけました。

コロナが格差を拡大し、少子化を加速化させてしまって、かなり深刻です。そして、現在の社会情勢から結婚後の生活、出産後の生活に対する不安意識が増大しています。誰と結婚して子どもを育てても、将来中流生活が送れる保証をするという必要性を共感しました。

“日本の少子化対策の失敗の本質の最大の原因は「未婚化」であることと、30年後には団塊ジュニア世代も後期高齢者となり、少子化対策に加え、孤立化社会への備えも切実な問題であるということ。1/4の人たちが結婚しない状況が続けば孤立する高齢者も増えます。かなり裕福でなければ現行水準の介護は受けられなくなるという予測もショッキングです。少子化の現状と理由を改めて学習でき、ちょうど今、国で審議している内容にも触れられて理解しやすかったです。

結婚できず、十分な介護も受けられず死んでいく、そうした人があふれる社会になるようなことは絶対に防がないといけない。「結婚したい、子どもを産み育てたい」と望む若者の希望をかなえられる社会をつくらなければならないです。

また、「歴史的資源を活かしたまちづくり」の講義で学習したポイントから、我が町ならではの観光資源を活かしたまちづくりを考えていきたいと思います。当地域特有の課題について、多くの皆さんと意見交換し、個々の課題解決のための取り組みを検討していく必要を強く感じました。

令和4年度

第1回市町村議会議員 特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回の研修では、まちづくりをテーマに、様々な分野の第一線でご活躍の方々にご講演いただき、改めて地域を見つめ直すとともに、地方議員に求められる役割について多角的に考えていきます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催要領

日 程

令和4年4月11日(月)～4月12日(火)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講

150人

※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講 50人

※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」とともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) (来所受講のみ) ※外泊はできません。

経 費

来所による受講

6,900円

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンラインによる受講 2,000円

申込期限

令和4年3月9日(水)まで

※先着順のため、申込期限前に締め切らせていただく場合がございます。

申込方法

○議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

○来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウィルス感染症の影響により、2~3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

令和4年

4月

11日(月)

11:00~
入寮受付・昼食13:00~
開講式・日程説明13:15~14:45
講義 地方行政と政策デザイン

福井県知事 杉本 達治 氏

15:05~16:35
講義 少子化問題の日本の特徴

中央大学文学部社会学専攻 教授 山田 昌弘 氏

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和4年

4月

12日(火)

9:00~10:30

講義 行動するSDGs~「ごみ」からのアプローチ~

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴 氏

10:50~12:20

講義 歴史的資源を活用した観光まちづくり

バリューマネジメント株式会社 代表取締役 他力野 淳 氏

12:20~12:30

閉講・事務連絡

講師紹介

福井県知事 杉本 達治(すぎもと たつじ)氏

1986年東京大学法学部卒業後、自治省(現総務省)に入省。2001年総務大臣秘書官、2003年総務省自治行政局行政課企画官、2004年福井県総務部長、2007年内閣参事官(内閣官房副長官補付)、2010年総務省自治事務局市町村税課長、2013年福井県副知事、2016年総務省消防庁国民保護・防災部長;2018年総務省公務員部長を歴任し、同年11月総務省退官。2019年4月福井県知事に就任(1期目)。

中央大学文学部社会学専攻 教授 山田 昌弘(やまだ まさひろ)氏

1981年東京大学文学部卒業。1986年同大学院社会学研究科博士課程退学。東京学芸大学教授を経て、2008年より中央大学文学部教授。内閣府・男女共同参画会議民間議員、東京都社会福祉審議会委員など公職を歴任。専門は家族社会学で、婚活の名付け親でもある。愛情やお金を取り口として、親子・夫婦・恋人などの人間関係を社会学的に読み解く試みを行っている。著書に、「結婚不要社会(朝日新書)」、「日本の少子化対策はなぜ失敗したのか? 結婚・出産が回避される本当の原因(光文社新書)」、「新型格差社会(朝日新書)」他。

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴(あさり みすず)氏

2000年京都大学工学部地球工学科卒業。2004年博士(工学)。研究テーマは「ごみ」や「環境・SDGs教育」。世界中の「ごみ」や暮らしづくりを観察して歩く日々を送る。社会の縮図として、京都大学のサステナブルキャンパス化にも取り組む。学生時代に「京大ゴミ部」を立ち上げ、環境啓発・教育活動に取り組み始め、2005年からは、京都議定書達成に向けた「びっくり!エコ100選」、エネルギー問題にアクションを起こす「びっくりエコ発電所」、京都におけるSDGs実装を目指す「エコ～るど京大」や「京都超SDGsコンソーシアム」、「京都里山SDGsラボ(ことす)」などを展開。2022年11月に第15回を開催する「3R・低炭素社会検定」の事務局長も務める。

バリューマネジメント株式会社 代表取締役 他力野 淳(たりきの じゅん)氏

2005年バリューマネジメント株式会社設立、代表取締役に就任。グローバル起業家団体 EO(Entrepreneurs Organization) Japan Area Director。文化財など歴史的資源、行政の遊休施設の利活用や観光まちづくりを推進。現在、観光庁の歴史的資源を活用した観光まちづくり、城の利活用を推進する城泊の専門家を担う。「施設再生から地域を活性化に繋げ、日本独自の文化を紡ぐ」がテーマ。

- 研修内容、タイトル等については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	2-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年6月23日

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 6,900 円

但し、

令和4年度世界情勢からわがまちの未来をつくる～トップマネジャーの方のために～

の 研修に要する経費
として上記の金額を領収いたしました。

令和4年6月23日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 114

使途項目	研修費	整理番号
		2-2

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項： JIAM 研修「世界情勢からわがまちの未来をつくる
～トップマネージャーの方のために～」

目的 地： 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) (大津市)

期 間： 令和4年7月4日～7月5日 (2日間)

(1) 交通費 7,622 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R4/7/4	自宅～JIAM 研修所 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
R4/7/5	JIAM 研修所～自宅 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
合計			7,622 円

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円 × 泊

(実費の上限は、14,800円)

合計 7,622 円

注意 交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	令和4年7月4日（月）～7月5日（水） 【 2 日間】
研修（視察）先	全国市町村国際文化研修所（大津市） <i>(JIAM)</i>
目的（テーマ等）	JIAM 研修「世界情勢からわがまちの未来をつくる ～トップマネージャーの方のために～
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ • 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

【研修概要、内容】

7月4日（月）第1講義

「新冷戦時代と日本の安全保障」

講師；秋元 千明氏

英國立防衛安全保障研究所（RUST）日本特別代表

◎第二次世界大戦後の国際秩序

- 大国と小国との対等な関係
- 主権の尊重・・大国による小国の主権制限の否定
- 国際法による、問題の解決（国連海洋法条約など）
- 国際人道法の整備（国際戦犯法廷の設置など）
- 力による現状変更、武力による国境変更の否定

◆◆◆ロシアのウクライナ侵攻

（領土への野望、勢力圏の拡大、19世紀的世界觀）

◎第二次冷戦

- 国際社会に安定と繁栄のため、ウクライナの領土保全、ロシアの排除が必要
- ウクライナ戦争は、地域紛争ではなく、西側諸国の価値と権益をかけた経済・情報・軍事面での事実上の世界戦争

（ランドパワー VS シーパワー）

- ロシアは弱体化し、中国の支配力の増大へ
- 世界の中心はインド太平洋へ

◎新冷戦構造の中の日本のこれからを考えていこう

7月4日（月） 第2講義

「地域資源としての異文化と多文化共生の地域づくり」

講師；池上 重弘氏 静岡県教育長（静岡文化芸術大学名誉教授）

◎外国人政策2つの柱

①出入国政策

②社会統合政策（統合≠同化）

★外国人の社会的な底辺化、周辺化を防ぐ

★人権尊重、異文化理解促進

●マスメディア報道される否定的イメージを投影...「外国人は怖い」

◎顔が見えるためには...一緒に何かやる

◎防災と多文化共生...災害弱者（言葉の壁、情報阻害）

心の壁、言葉の壁、制度の壁

★要援護者としての側面から、外国人について考える

<ルール>○むずかしい言葉でなく簡単な表現 ○文を短く

○災害時によく使う言葉、知つておいた方が良い言葉はそのまま使う（避難、余震など）○漢字の量に注意

- ローマ字使わない ○擬態語・擬音語は使わない
- 災害時 外国人は仲間 (力仕事・地元通訳)
 - 支援者 (直接支援・後方支援)
 - ◎ 災害に備え承諾得た外国人市民等の居住情報リスト (静岡県磐田市)
- ◎多文化交流センター
 - ★この10年で外国人をめぐる環境変化
 - ★地域に住む外国人は思う以上に交流に関心
 - 外国人の気持ちに寄りそってみる
 - ◎外国人との多文化共生でも「三方よし」の受け入れを！
 - 売り手よし、買い手よし、世間よし、
 - 企業よし、外国人よし、地域よし

7月5日(火) 第3講義

「デジタル先進国デンマークから学ぶ、人間中心スマートシティ実現の秘訣」

講師；中島 健祐氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) ソーシャルインパクト・パートナー事業部 社会イノベーション・エバンジェリスト

- ◎デンマークは経済成長とエネルギー消費と脱炭素の両立
- ◎世界幸福度調査 2021 (国連)
 - 1位フィンランド、2位デンマーク、3位イスラエル
 - ～デンマーク、フィンランドは感染症抑制しながら、ロックダウンせず(民主主義を保ちながら)コロナ危機乗り切った
- ◎EUの「デジタル経済及び社会指標」
 - 1位デンマーク、2位フィンランド
- ◎世界電子政府ランキング 2020
 - 1位デンマーク、2位韓国、3位リトアニア
- ◎2025年に向けたデンマークの新デジタル成長戦略：2018年1月30日発表
- ◎デンマークのスマートシティ体系
- ◎イノベーションとダイバーシティの融合モデル
- ◎デンマーク型地域創生の秘訣
 - オーデンセ市 ロボットクラスター
 - 医療・福祉介護プラットフォーム
- ◎スマートソリューション社会実装の仕組み
- ◎北欧版産学官システム
- ◎デンマークのトリプルヘリックス事例
 - コペンハーゲン市：環境エネルギー
- これからの社会システム

SaaS XaaS MaaS CaaS NaaS NaaM

●北欧モデルを日本流に置き換える

〈ビジョンの設定〉	グリーン成長（SDGsとの連携）等	日本での展開可能性○
〈日本型文化〉	共生と共助等	日本での展開可能性○
〈方法論〉	オープンイノベーション等	日本での展開可能性○
〈教育と人材〉	問題解決型教育（PBL）等	日本での展開可能性○
〈社会システム〉	デジタル統合インフラ（CPS）等	日本での展開可能性

7月5日（火） 第4講義

「持続可能な地域社会の構築に向けて」

講師：三宅 香氏

日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表

三井住友信託銀行 ESGソリューション企画推進部 主管

●温暖化対策はこの10年が勝負

『パリ協定』「産業革命前と比べた世界の平均気温上昇を2度より低く保ち、

1・5度に抑える努力をする」

パリ協定の目標値にまだ届かないが、2015年のCOP発足時からは前進している。国だけでなく、多くの企業や自治体が温暖化ガス排出量を実質ゼロにすることを目指している。

既存の技術を活用すれば、「1.5度目標」は達成可能とし、中心的技術として再生可能エネルギーがある。

【所感と今後の活用】

当研修では、新型コロナウィルス感染拡大により、大きく変化する社会情勢の動向を踏まえて、自治体の施策にはどのように取り組んだらよいのか、地域の活性化のためには、どのようにつなげていくのかを考えて学習するための、講座が組まれていました。講師陣は各分野で中央でご活躍の先生方で、テレビでもおなじみの著名な講師も登場し、現状と課題についてわかりやすく説明していただきました。

「ウクライナ侵攻」についての講座では、ウクライナ侵攻への行程と今後の戦争の終結について、歴史的背景を踏まえた民族の事情等まとめて分かりやすく解説していただきました。国際秩序を絶対に守らなければならないし、日本の立場について、そして今後の姿勢について考えました。ロシアのウクライナ侵攻により、日本国内各地域の生活にも甚大な被害を被っている状況の理解があたためて深まりました。

「異文化と多文化旺盛」の講座では、地域で居住される外国人皆さんをだ「労働力押してみるのは間違いであり、「生活者」としての視点で地域のみんなで受け入れ、関係性を築していくべきであるとくわかりました。アジアの若者が日本で学び、日本の企業で自己の才能を開花させて活躍する姿、「外国人として夢をあき

らめずにチャレンジ、成功をつかむ」という素晴らしいアジアの若者スピーチに感動しました。

「デジタル、人間中心のマートティ」の講座では、ごみ処理場に、スマホやロッククライミング施設など健康増進考慮したものにすることと、風力発電等、脱炭素推進とデジタルをふんだんに取り入れたスマートシティ戦略など日本のローカルな地域に住む自分にとって、かけ離れたものはあるけれども、デンマークやスウェーデン等先進諸国中長期的な視点にたち、地球規模での環境保全や地域振興と社会福祉に取り組んでいくマインドを学び、参考になる点が多かったです。

「持続可能な地域社会」の講座では、脱炭素に向け、国際的に取り組む具体的な内容として、日本はCO₂排出量抑制がまだ不十分であること、地産地消の再生可能エネルギー創出の必要性を改めて学習できました。自治体での取組、地域の取組を考える手立てとしたいです。消化不良の部分もあり、さらに深く継続しての分野の学習をして、地域での具体的な啓発につなげられるように、努力していきたいです。

受講証明書

団体名：三重県 東員町

所属・氏名：東員町議会 議員 山崎 まゆみ

研修名：令和4年度世界情勢からわがまちの未来をつくる
～トップマネジャーの方のために～

期間：令和4年7月4日（月）～ 7月5日（火）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和4年7月5日

全国市町村国際文化研修所
学長 藤田 積



令和4年度



世界情勢からわがまちの未来をつくる ～トップマネジャーの方のために～

世界情勢をしっかりと見極め、変化に負けない特色あるまちづくりをしていくために、各分野でご活躍の先生方をお招きし、新型コロナウイルス感染拡大により大きく変化する世界情勢の動向を踏まえて、どのように自治体の施策に取り組み、地域の活性化に繋げていくのか考えます。

7月
4日(月)

「新冷戦時代と日本の安全保障」

英國王立防衛安全保障研究所(RUSI) 日本特別代表 秋元 千明 氏

「地域資源としての異文化と多文化共生の地域づくり」

静岡県教育長 池上 重弘 氏

7月
5日(火)

「デジタル先進国デンマークから学ぶ、人間中心スマートシティ実現の秘訣」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部

社会イノベーション・エバンジェリスト 中島 健祐 氏

「持続可能な地域社会の構築に向けて」

日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表

三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部 主管 三宅 香 氏

開催要領

日 程

令和4年7月4日(月)～7月5日(火)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

①市区町村長・副市区町村長及び部長級職員等

②市区町村議會議員(議会事務局を通じてお申し込みください)

この研修では、2日間ご受講いただくのはもちろんのこと、どちらか1日のみでもご受講いただけます。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※この研修では、外泊可能としています。宿泊されない場合は、事前にお知らせください。

※1日のみのご受講の方は、宿泊いただけません。

経 費

6,900円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
1日のみの受講者、宿泊されない場合も同額となります。

なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年5月23日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2~3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

令和4年

7月

4日(月)

令和4年

7月

5日(火)

11:00~
入寮受付・昼食13:00~
開講・日程説明

13:15~14:45

「新冷戦時代と日本の安全保障」

英國王立防衛安全保障研究所(RUSI) 日本特別代表 秋元 千明 氏

15:00~16:30

「地域資源としての異文化と多文化共生の地域づくり」

静岡県教育長 池上 重弘 氏

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:30

「デジタル先進国デンマークから学ぶ、人間中心スマートシティ実現の秘訣」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部

社会イノベーション・エバンジェリスト 中島 健祐 氏

10:45~12:15

「持続可能な地域社会の構築に向けて」

日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表

三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部 主管 三宅 香 氏

12:15~12:30

閉講・事務連絡

講師紹介

英國王立防衛安全保障研究所 (RUSI) 日本特別代表 秋元 千明 氏

早稲田大学卒業後、NHK入局。30年以上にわたり、軍事・安全保障専門の国際記者、解説委員を務める。冷戦時の東西軍備管理問題、湾岸戦争、ユーゴスラビア紛争、北朝鮮核問題、同時多発テロ、イラク戦争など、豊富な取材経験を持つ。一方、RUSIでは1992年に客員研究員として在籍した後、2009年、日本人として初めてアソシエイト・フェローに指名された。2012年、RUSI Japanの設立に伴い、NHKを退職、所長に就任。2019年、RUSI 日本特別代表に就任。日英の安全保障コミュニティーに幅広い人脈があり、両国の専門家に交流の場を提供している。大阪大学大学院招へい教授、拓殖大学大学院非常勤講師を兼任する。



専門分野は国際安全保障、インテリジェンス、地政戦略論、軍事史。

著書に『復活!日英同盟』(CCCメディアハウス/2021年)、『戦略的地政学』(ウェッジ/2017年)。

静岡県教育長 池上 重弘 氏

北海道大学大学院文学研究科修了。北海道大学助手、静岡県立大垣大部専任講師、静岡文化芸術大学助教授を経て、2008年より同大文化政策学部教授。2022年に同大名誉教授。2022年4月に静岡県教育長に就任。専門は文化人類学、多文化共生論。日本社会の多文化・多民族化に伴う地域の問題を実証的に研究。



主な著作に『ブラジル人と国際化する地域社会-居住・教育・医療-』(編著、明石書店)、『移民政策のフロンティア』(編著、明石書店)など。

社会的活動としては、移民政策学会会長、「多文化共生の推進に関する研究会」(総務省)構成員、「学校における外国人児童生徒等に対する教育支援に関する有識者会議」(文部科学省)委員、「外国人との共生社会実現のための有識者会議」(出入国在留管理庁)委員をはじめ、静岡県や愛知県、浜松市等の多文化共生関連の委員会を歴任。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部

社会イノベーション・エバンジェリスト 中島 健祐 氏

通信会社、米系コンサルティング会社、デンマーク外務省を経て現職。ビッグデータ、IoT、人工知能、ロボットといった先端技術を利用したスマートシティやデジタルガバメントなど社会システム全般に関するコンサルティングと企業向け成長戦略策定支援が専門。また通常のコンサルティングに社会デザイン、デジタルデザイン、人間中心デザインの要素を統合した新たなコンサルティング領域を提供するなど幅広いテーマに従事。



著書に『デンマークのスマートシティ データを活用した人間中心の都市づくり』(学芸出版社)。

日本気候リーダーズ・パートナーシップ 共同代表

三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部 主管 三宅 香 氏

1991年ジャスコ(現イオン)入社。プランニング部長、クレアーズ日本株式会社社長、グループお客様サービス部長、イオントレーニング部長などを経て、2017年イオン執行役環境・社会貢献・PR・IR担当、2021年3月イオン執行役環境・社会貢献担当(～2022年2月)。2022年4月より三井住友信託銀行ESGソリューション企画推進部主管。2019年4月に日本気候リーダーズ・パートナーシップ共同代表に就任し、これまで多数の国際会議や講演、企業活動を通じ環境や地域に貢献する社会の実現に取り組んでいます。



本研修のほかに、市区町村長及び市区町村議会議員を対象に、以下の研修を予定しています。

研修名: 令和4年度トップマネジメントセミナー 日程: 令和4年10月3日(月)～4日(火) ◆詳細は研修日の約2か月前にお送りする研修案内ちらしをご覧ください。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	3-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年 8月 25日

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 10,200 円

但し、

令和4年度これから子育て支援～安心して子育てができる
まちを目指して～

の 研修に要する経費
として上記の金額を領収いたしました。

令和4年8月25日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 229

使途項目	研修費	整理番号	3-2
------	-----	------	-----

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項： JIAM 研修「これからの子育て支援

～安心して子育てができるまちを目指して～

目的 地： 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) (大津市)

期 間： 令和4年8月29日～8月31日 (3日間)

(1) 交通費 7,622 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R4/8/29	自宅～JIAM 研修所 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
R4/8/31	JIAM 研修所～自宅 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
合計			7,622 円

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円× 泊

(実費の上限は、1・4, 800円)

合計 7,622 円

注意交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

〔政務活動費の手引き P10 (2)〕

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	<u>令和4年8月29日（月）～8月31日（水）</u> 【 3 日間】
研修（視察）先	全国市町村国際文化研修所 （大津市）
目的（テーマ等）	JIAM 研修「これから子育て支援～安心して子育てができるまちを目指して～」
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ 有 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名： 山崎 まゆみ 〕

8月29日（月） 第1講義

「これから子育て支援を考える～子育て家庭を地域で支えるために～」

講師；渡辺 順一郎 氏

◎少子化の進行する中、少子化対策を強化し、子ども・子育て支援施策をより一層充実させることが国家的重要課題となっている。

子ども・子育て支援新制度

2015年度スタート。子育て支援の量の拡充や質の向上を進めるため。

「認定こども園法」「児童福祉法」等含む関連施策

◎女性の活躍推進のための施策

2016年度スタート「女性活躍推進法」

◎子育てを取り巻く経済的状況

子育てや教育にお金がかかりすぎる

◎幼保無償化

2019年10月からスタート（3歳～5歳までのすべての子どもの利用料が無料に）（0～2歳の子どもについては、低所得世帯一住民税非課税世帯を対象に無料）

◎高等教育の修学支援新制度（令和2年4月より）大学、短大、高等専門学校、専門学校、授業料などの減免あるいは給付型奨学金（住民税非課税世帯

★今後どのように保育の需要と供給のバランスを図っていくのかが大きな課題

地域子育て支援拠点

○子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

○子育ての相談、援助

◎地域における包括的な子育て支援とその体制...「子育て世代包括支援センター」

2024年度からは「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」は一本化されて「子ども家庭センター」として成立。

8月29日（月） 第2講義

「子育て支援最前線～地域子育て支援の現場から～」

講師；奥山 千鶴子 氏

NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

子育て支援最前線～地域子育て支援の現場から～

◎妊娠期から地域とつながる切れ目のない支援の構築

◎拠点における「寄り添い型支援」の構造と展開

◎『利用者支援事業』

◎「こども家庭庁」

- ・子どもの視点、子育て当事者の視点
- ・地方自治体との連携協強化
- ・NPO をはじめとする市民社会との積極的な対話・連携・協働

★子どもが生まれることで、子育て家庭は地域コミュニティを再認識する。

特に初めての子育て家庭や転入者の孤立を防ぐ視点が重要。

★地域コミュニティや地方自治体は、地域資源を拡充し、多様な主体をネットワーク化しながら市民協働の視点で体制づくりを展開していく必要性がある。

8月30日(火) 第3講義

「妊娠期から子育て期まで包括的に子育て家庭を支援する」

講師：佐藤 拓代氏

公益社団法人母子保健推進会議 会長

～妊娠期から出産後間もない時期への支援がカギ～

『児童福祉法の改正』令和6年4月施行

- ・「子ども家庭センター」の設置
- ・住民からの子育てに関する相談に応じる
- 自己責任にしない、妊娠・出産・子育て
- 今求められる「子ども虐待予防の養育者支援」

妊娠SOS相談窓口

支援プラン対象者をアセスメントで判断することのはず

(面談などでなく、まずは関係性構築の出会いからスタート)

◎「母子保健」と「地域子育て支援」との連携

利用者と関係者（機関）に”見える支援”

◎支援を拒否させない、支援の隙間に落とさないため、利用者目線の視点。

8月30(火) 第4講義

「御坊市の取組～子育て世代」

御坊市役所健康福祉課 津村 千賀氏

●母子保健研究について

●産前産後ケアを中心に・・・4割の産婦に、産後ケア事業のニーズがある

「和歌山県母子健康カード」

★母子保健研究（データ化）に取り組む保健師

8月30日(火)・31日(水)

持ち寄り事例による課題解決フォーラム（グループ討議、発表）

講師： 佐藤 拓代

「横の繋がり」「縦の繋がり」「公的機関」よりも、情報収集はネットに頼る時代

【所感と今後の活用】

少子化の理由と子育て家庭のニーズに応えきれていない子育て支援施策の日本の現状の理解を深め、さらに「地域の子育て支援拠点」の多機能化のおかげで利用者アップにつながったというお話は心強かったです。

また、利用者のニーズをつかみながら行政を連携しながら、子育て支援の地域活動として継続されている団体の活動に敬意を表します。「相談事業は電話よりもチャットでなら相談しやすい」という若い親のお話も参考になりました。

妊娠初期から切れ目のない支援の重要性を実感しました。「児童福祉法」の改正点についてもよくわかりました。

「特定妊娠」の「支援プラン」例も非常に有益な内容でした。佐藤先生の実践と「母子保健型」の産前産後ケアの取組と、仕組み作りも参考になりました。『5歳児検診』の意義と修学前に必要な理由をもう少しお聞きしたいと思いました。

グループワークの時間で、各班のメンバー各自の自治体での取組事例や課題などを共有できたことは有意義でした。参考にさせていただけることを多く聞かせていただきました。今後「こども家庭庁」が創設されること、少子化対策として、も、子育て支援に重点を置かれていくようになる中で、地域全体で子育てを支える取り組みを明確にしていかないといけないと思います。子育てを終えた中高年の方々の理解とサポートで地域の中核施設で子育て支援を行っていくことは、高齢者の生きがい支援にもなると思い、子育てサポートの我が広がっていくと良いと思います。地域の当事者のニーズも多様化してきていますが、当事者の声を聴きながら、地域での子育て支援の取り組みに協力していきたいと思います。

受講証明書

団体名：三重県 東員町

所属・氏名：東員町議会 議員 山崎 まゆみ

研修名：これからの子育て支援
～安心して子育てができるまちを目指して～

期間：令和4年8月29日（月）～8月31日（水）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和4年8月31日

全国市町村国際文化研修所
学長 植松 浩二



令和4年度

これからの子育て支援

～安心して子育てができるまちを目指して～

少子化が進む中、自治体は子育てをめぐる様々な課題に直面しています。子育て世代包括支援センターを拠点とした、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の体制を確保することが求められています。

この研修では、地域における子育て支援の現状や課題を把握し、先進事例等を通じて、すべての子どもや子育て家庭が安心して豊かに暮らせるまちづくりの実現を目指した子育て支援について考えます。

研修の ポイント

- 子育て支援制度の変遷を学び、地域の実情に応じた子育て支援施策を展開するため必要な知識や手法等を学ぶ
- 妊娠期から子育て期までの様々なニーズに対応して、今後さらに強化が求められる「産後ケア事業」や「産前・産後サポート」について理解する
- 事例紹介を通じて自らの自治体に必要な支援事業のヒントを得る

開催要領

日 程

令和4年8月29日(月)～8月31日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

少子化対策、子育て支援業務に携わる市町村職員(保育士・幼稚園教諭含む)

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰郷はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご留意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

10,200円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。

なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年7月7日(木)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2~3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

E-mail: kenshu@jiam.jp 「ホームページ」<https://www.jiam.jp>

令和4年

8月

29

日(月)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講・オリエンテーション

13:00~15:35
講義 これからの子育て支援を考える～子育て家庭を地域で支えるために～
日本福祉大学 教育・心理学部 教授 渡辺 順一郎 氏
子ども・子育て支援制度の変遷、地域における子育て支援の現状と課題、子育て業務に携わる自治体職員に求められる知識や能力、心構えなどについてお話ししいただきます。

15:50~17:20
講義 子育て支援最前線～地域子育て支援の現場から～

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山 千鶴子 氏
子育て家庭を地域で支えるために必要な支援や環境づくり等の取組について、最新の情報をお話ししいただきます。

17:45~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和4年

8月

30

日(火)

9:25~12:00
講義 妊娠期から子育て期まで包括的に子育て家庭を支援する

公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏
切れ目ない支援体制や、今後さらに必要となる産前産後ケアについて、子育て世代包括支援センターと各関係機関との連携強化も含めて、安心して子育てができる地域づくりについてお話ししいただきます。

13:00~14:10
事例紹介 御坊市の取組
～子育て世代包括支援センター・産前産後ケアを中心に～

和歌山県御坊市健康福祉課母子保健係長 津村 千賀 氏
コーディネーター:公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏
子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠期から子育て期にわたって安心して子育てができる環境づくりを推進し、子育てに関する様々な相談や関係機関との連携、産前・産後の切れ目のない支援や産後ケア事業といった取組についてご紹介いただきます。

14:25~17:00
演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム(グループ討議)

公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏
2日間の講義・事例紹介などから学んだことを踏まえて、各自の持ち寄り事例をもとに現場の課題を共有し、その対応策についてグループで討議します。

17:00~
課外演習

9:25~12:00
演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム(発表・講評)

公益社団法人 母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏
グループごとに討議した内容や課題解決に向けた取組案を発表していただき、講師より講評をいただきます。

12:00~12:30
ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和4年

8月

31

日(水)

●研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	4-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年9月20日

領 収 書 Receipt 山崎 淳平様 領収年月日 2022.9.20 金額 ¥12,700(消費税等込み) (クレジット払い) 購入商品 JR乗車券類 JR tickets (40095枚) 東海旅客鉄道株式会社 案名駅 案名MVI発行 50096-02		JR 群馬駅 ←→ 京都 (新幹線・東京券) のぞみ指定券 往復切符代
<p>※ 領収書等は、重ねず貼ってください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。</p>		
使 途		
按 分 率 等 (按分の支出の場合)		
そ の 他		

使途項目	研修費	整理番号	4-2
------	-----	------	-----

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項：第14回 京都大学公共政策大学院・JIAM連携セミナー
「SDGsと新たな社会への歩み」

目的地：京都大学 吉田キャンパス (京都市)

期間：令和4年 9月 22日 (1日間)

(1) 交通費 14,440 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R4/9/22	自宅～京都大学吉田キャンパス ①・城山2丁目 ⇄ 桑名 (三交バス) 610円×2=¥1,220	三交バス、 新幹線、 地下鉄	14,440円
	② 桑名 ⇄ 京都 (新幹線、乗車券) ¥12,700		内訳: 桑名 ⇄ 京都 JR 新幹線 12,700円
	③ 地下鉄 (京都 ⇄ 今出川) 260円×2=¥520		地下鉄 (京都 ⇄ 今出川) 520円
	① + ③ = ¥1,220 + ¥520 = ¥1,740		(自宅 ⇄ 京都駅) 1,220円
	合計		14,440円

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円 × 泊

(実費の上限は、14,800円)

合計 14,440 円

注意 交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	<u>令和4年9月22日(木)(1日間)</u>
研修（視察）先	京都大学 吉田キャンパス 法経済学部本館2階法経第1教室 (京都市)
目的（テーマ等）	第12回 京都大学公共政策大学院・JIAM連携セミナー 『人口減少下の自治体経営・地域づくり』 ～SDGsと新たな社会への歩み～
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ 有 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

＜研修概要・内容＞

「SDGsと新たな社会への歩み」

〈第1講義〉

～持続可能な社会をつくるためのデジタル改革～

講師；岩下 直行 氏

京都大学 公共政策大学院 教授

1. SDGsへの共感と懐疑

◎SDGsへの啓発は日本国内でも拡大

世界経済フォーラムが2020年実施調査によれば、日本において

SDGsを認知している人の割合は45.6%。

メディア、学校、職場でSDGsの言葉が普通に使われるようになった。

特に企業では、SDGsを企業経営に取り込み、ESG投資を呼び込むことが、企業価値の向上のために重要な課題とされている。

○国連が定めた社会課題解決のための国際目標の実現に協力する」という考え方共感する人は多いだろうが、一時的なブームに終わるのではないか。既存の取組へのラベル張りに過ぎないのではないか、といった懐疑的な見方もある。

○特に、地球環境問題を中心とする「持続可能性」をめぐって複雑な利害関係が存在する。

◎ SDGsの5つのP

人間 (people) ・・貧困と飢餓に終止符

地球 (planet) ・・持続可能な生産と消費、天然資源の持続可能な管理

繁栄 (prosperity) ・・すべての人間が豊かで満たされた生活を享受

平和 (peace) ・・恐怖及び暴力から自由、平和的、公正かつ包摂的な社会

パートナーシップ (partnership) ・・地球規模の連帯の精神に基づき、貧しく脆弱な人々の必要に特別の焦点をあてる

◎国連の開発目標の変遷

UNDD（国連開発の10年） → MDGs（ミレニアム開発目標 2000年の国連サミットで採択） → SDGs（持続可能な開発目標 2015年の国連サミットで採択）

2. 「成長と限界」をめぐる論争と現在

資源の枯渇と、環境汚染による世界の崩壊を予言した書物。その後の様々なイノベーションの指針となった。

「成長の限界」から50年が過ぎて、研究者は論争を終結させ、「壊滅的な環境破壊を食い止め、幸福度を高める」という目標に研究者が取り組むことである。

3. SDGsのためのデジタル改革

◎DXを進めないとGXも進まない！・・・DXがなければ、大幅なCO₂排出量の削減は難しいとの推計結果。

●日本企業のデジタル改革は進んでいない

- 行政手続きにおける認印の行政手続きにおける認印の全廃
- SDGs 未来都市・・・自治体による SDGs の達成に向けた取り組みを公募し、優れた取り組みを提案する都市を「SDGs 未来都市」として選定。その中で先導的取り組みを行う年を「自治体 SDGs モデル事業」に選定し、資金的に支援。
- 環境省資料「DX と GX の同時推進による地域課題の解決」
 - デジタル田園都市をグリーンで実現
 - グリーン × DX で地域活性化
- デジタル庁資料「持続可能な新産業の創出へ」
 - デジタル田園都市国家構想の取組イメージ全体像
 - ★★★従来の モノ中心 → 情報中心 に！
 - 全体の効率を上げて地球環境を良くする。
 - 上手に DX 化して、上手に新産業に引き継いでいくこと！！

〈第2講義〉

～心伝達技術で目指すウルトラダイバーシティ社会～

講師；岡田 志麻氏

立命館大学理工学部ロボティクス学科 教授

●多様性をどうとらえるか

- ・多様性と超多様性
- ・超多様性社会でのこころ伝達技術

アイデンティティを認めること、
自身にも他者にもあるアイデンティティを認める

●こころ つなぐために知りたい「こころ」とは？

人間や生き物の精神的な作用の元になるもの

感情・意思・知識・認知・記憶等を含みつつ指している

●こころ伝達手段獲得による孤独ゼロ自殺ゼロのウルトラダイバーシティを実現



《超多様性社会》

年齢無関係、いろんな人の意見、
仲間と協力し、すべての問題を
解決していく。

<所感・活用> JIAM研修所と京都大学との共同開催で、「SDGs と新たな社会への歩み」というテーマで京都大学公共政策大学院 岩下教授、立命館大学理工学部 ロボティクス学科 岡田教授の講演を、京都大学の会場に聴講に行ってきました。京都大学の講義の聴講は以前にも経験しましたが、今回のテーマはとても関心があり、面白い内容でした。岩下教授の講義の構成は「まず SDGs を疑って、みる。SDGs は経済成長につながっていないと、SDGs の原動力は生

まれないから」というスタートで「成長の限界」を巡る論争があること、さらには「SDGsのためのデジタル改革」や「日本におけるSDGsと地方自治」についてもお話しいただき、SDGsの活用、推進についての理解が深まりました。第2講義の岡田教授からは「こころ伝達技術で目指すウルトラダイバーシティ社会」と題してウルトラダイバーシティ社会の概要、こころの壁を開拓するための伝達技術、こころを観るために行動計測方法、こころをつなぐための実験、人間の新たな可能性について、学際的にお話しいただきました。コロナ禍、当セミナーは2年ぶりの対面形式で開催され、学んだ新しい知見を今後の活動に活かしていこうと思います。

「SDGsと新たな社会への歩み」

参加費
無料

京都大学公共政策大学院と全国市町村国際文化研修所(JIAM)では、毎年、両者の連携によりセミナーを開催してきました。

第14回となる今年は、今後も変化し続けるであろう世の中の動きを的確に捉え、持続可能な地域社会を実現するために今何ができるのか、その新たな一歩を踏み出すためのヒントを得ることを目的として開催いたします。

日 程 令和4年9月22日(木) 13:20~(開場12:50)

会 場 京都大学 法経済学部本館1階法経第四教室

(教室は変更となる場合がございます)

住所: 京都市左京区吉田本町(吉田キャンパス)

対 象 本テーマに関心のある方々

申込方法 裏面をご覧ください

講 演 者

「持続可能な社会をつくるためのデジタル改革」

京都大学 公共政策大学院
教授

岩下 直行 氏



「心(こころ)伝達技術で目指すウルトラダイバーシティ社会」

立命館大学理工学部ロボティクス学科
教授

岡田 志麻 氏



京都大学吉田キャンパス アクセス

※駐車場はございませんので、市バス他、公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ

公益財団法人 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部・調査研究部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13-1

TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] renkei@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	5-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年9月22日

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 6,900 円

但し、

令和4年度トップマネジメントセミナー～災害や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構築に向けて～

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和4年9月22日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 251

使途項目	研修費	整理番号	5-2
------	-----	------	-----

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項： JIAM 研修「トップマネージメントセミナー
～災害や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構築に向けて～」

目的 地： 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) (大津市)

期 間： 令和4年10月3日～10月4日 (2日間)

(1) 交通費 7,622 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R4/10/3	自宅～JIAM 研修所 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
R4/10/4	JIAM 研修所～自宅 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
合計			7,622 円

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円 × 泊

(実費の上限は、14,800円)

合計 7,622 円

注意交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	令和4年10月3日（月）～10月4日（火）（2日間）
研修（視察）先	全国市町村国際文化研修所（JIAM） (大津市)
目的（テーマ等）	令和4年度 トップマネジメントセミナー ～災害や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構築に向けて～
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ • 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

<研修概要・内容>

〈第1講義〉

10月3日(月)

「大規模災害に備えて～想定外は起きる～」

講師；岡本 全勝 氏

2011年に東日本大震災被災者生活支援本部事務局次長

元 復興庁事務次官、自治大学校長

現 市町村職員中央研修所 学長

①想定外が起きた

1, 2つの大災害

(1) 千年に一度の大津波

町が流され、暮らしが成り立たない

役場が流され、住民支援の機能喪失

(2) 初めて経験する原発過酷事故

わからない事故状況、わからない国民への危険

全住民避難の町村。遠く全国に。

2, 私の経験=前例がないことをする

「現場がどうなってるか」「何をしなければならないか」わからない

① 組織の立ち上げ=被災者生活支援チーム（緊急災害対策本部）

一人ではできない。

組織を動くようとする

② 何をするか=前例はない

これまでにない施策、

官僚批判にこたえる、縦割りの打破

3、政策拡大と哲学変更=「国土の復旧」から「生活再建」へ

①インフラ復旧だけでは戻らない、にぎわいと暮らし

モノ（インフラと住宅）、機能（各種サービス、産業）

つながり（コミュニティ、つきあい）

②想定外は起きる

(1) 重大危機に学んだ30年

「日本人は水と安全はタダだと思っている」

湾岸戦争(1991)、雲仙普賢岳火碎流(〃)、北朝鮮ミサイル発射実験(1993)。

阪神淡路大震災(1995)、地下鉄サリン(〃)、

九州南西海域北朝鮮工作船と海上保安庁巡視船の銃撃戦(2001)、

北朝鮮地下核実験(2006)、東日本大震災(2011)、新型コロナ感染症(2020)

ロシアによるウクライナ侵攻(2022)

この間、豪雨災害の頻発、中国軍の増強と日本海侵入の常態化、サイバー攻撃

- (2) 想定される重大危・・・大規模自然災害、武力攻撃、感染症など
- (3) 内なる危機・・・国民と職員の意識のゆるみ
- (4) 緩慢な危機・・・少子化、経済衰退、地域の衰退

◎危機に備える

- ①危機の事前準備 ②危機事態対処 ③先例の勉強と訓練 ④想定外、想像力
- ★確実に言えるのは「確実なことはない」
- ★思い込みの危険ー「わが町は大きな災害が起きたことはない」、「原発は安全だ」

〈第2講義〉

10月3日(月)

「災害に強いまちづくり」

講師；河田 恵昭氏

関西大学社会安全学部 特別任命教授

阪神淡路震災記念 人と防災未来センター長

◎コロナパンデミックが教えてくれた災害文化の大切さ

新型コロナの累積感染者数、犠牲者数はG7で日本が最も少ない。

●防災力を大きくする

3なぜ大災害に備えることが豊かな社会づくりにつながるのか

防災・減災・縮災の目的

<目的>被害を少なくする

●災害文化は人間の本能を抑え、防災意識を育てる

相転移とは=社会現象であるので、事前にその原因がわかれれば対策を講ずることができる

◎事前に対象となった地域で災害発生した場合、何が原因で相転移になるかを調べ、それが起こらないようにすれば、大被害の発生は避けられる。

◎危機対応に正解はないけれど、正解を求める努力（正解と信じて勇気をもって挑戦する）を継続しないといけない。

今日の講演の結論

○まちが豊かになる文明の発展と心が成長する文化の発展の両方がうまくかみ合うこと。

○住み続けることで努力の長期継続は可能、社会の防災力（予防力、回復力）も大きくなる。

○心配な活断層が動いても、線状降水帯による豪雨で河川氾濫しても極端に大きな被害にならず、創造的復興ができる。

まちづくりは人づくり、教育に投資は必要、協力しながらみんなで仲良くすること、避難行動要支援者

日本は防災大国として、世界に貢献する！！

〈第3講義〉

10月4日(火)

「行政の危機管理～相次ぐ災難への対応と
“ピンチをチャンス”に変えるまちづくり～」

講師：木幡 浩 氏

福島県福島市長

○災害情報収集伝達体制の強化

災害対策オペレーションシステムの構築

○防災体制の強化

災害対策本部室の見直し

避難判断水位の見直し

防災訓練の実効性確保

事前の備えの強化

災害対策拠点としての道の駅

○地域住民の防災力の向上

ハザードマップ、市民防災ガイドとマイ避難ノート、

地区防災計画の策定

個別避難支援プラン（避難行動要支援者の登録）

○新たな避難対策

避難所の感染防止対策

分散避難への転換

障碍者通所施設を福祉避難所に

○新たな連携

多様な事業者、上流域との連携、県との総合協定

○安全安心な地域に向けて

居住推奨区域の見直し

○最後は自助～勇気をもって住民意識の向上を

〈第4講義〉

10月4日(火)

「ウェルビーイングな働き方と日本の未来」

講師：島田 由香 氏

(株) YeeY 共同創業者/代表取締役

地域住民のウェルビーイングを高める仕組みづくり



心身と社会的な健康、満足した生活、幸福な状態

個人の意識を改善するためのサポート

働き方の流動性につながる

<所感・活用>

非常事態を数々経験した日本が、新しい常識を取り入れて、新しい社会に向かうため行政は何をしなければならないのか、また非常時に、柔軟に対応できる組織であるためには、何が必要なのか？について、過去の大災害時に専門分野でご経験をされた講師陣であったので、内容が重厚、かつリアルな実感が込められた語り口でした。非常事態でも負けない自治体を作るにはどうしたらよいかを講義の中でたびたび強調されました。

今回の研修における「復旧・復興の現場」の生の声は、とても興味深かったです。そして防災に関する考え方と姿勢についての理解と見識が深まりました。最後の講義でのウェルビーイングの学びについては、何となく元気になり、明るい気持ちになりました。

当研修での学びを活用して、今後の活動に活かしていこうと思います。

受講証明書

団体名：三重県 東員町

所属・氏名：東員町議会 議員 山崎 まゆみ

研修名：トップマネジメントセミナー
～災害や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構築に向けて～

期間：令和4年10月3日（月）～ 10月4日（火）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和4年10月4日

全国市町村国際文化研修所
学長 植松 浩



令和4年度

トップマネジメントセミナー

～災害や感染症などへの対応と質の高い地域社会の構築に向けて～

近年、新型コロナウイルスの感染拡大や全国各地で発生した様々な自然災害により、多くの人々がこれまでの日常生活を送ることができなくなるなど、数々の非常事態を経験してきました。今後、こうした非常事態の教訓を踏まえて、日本が新常識を取り入れた新しい社会に向かうために、行政は何をしなければならないのか。また、非常時、柔軟に対応できる組織であるためには何が必要なのか。自治体の積極的な取組みが求められています。本セミナーでは、様々な専門分野の先生をお招きし、非常事態にも負けない自治体を作るため大切なことは何かを学びます。

10月3日(月)	大規模災害に備えて—想定外は起きる
	元復興庁事務次官・市町村職員中央研修所 学長 岡本 全勝 氏
10月4日(火)	災害に強いまちづくり
	関西大学社会安全学部 特別任命教授 河田 恵昭 氏
10月4日(火)	行政の危機管理～相次ぐ災難への対応と「ピンチをチャンス」に変えるまちづくり～
	福島県福島市長 木幡 浩 氏
10月4日(火)	ウェルビーイングな働き方と日本の未来
	株式会社 YeeY 共同創業者／代表取締役 島田 由香 氏

日 程

令和4年10月3日(月)～10月4日(火)(2日間)

開催要領

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

①市区町村長・副市区町村長及び部長級職員等

②市区町村議会議員(議会事務局を通じてお申込みください。)

※このセミナーでは、2日間ご受講いただくことはもちろんのこと、どちらか1日のみでもご受講いただけます。

募集中人数

60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

宿泊研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※このセミナーでは、外泊を可能としております。宿泊されない場合は、事前にお知らせください。

※1日のみのご受講の方は、宿泊していただけません。

経 費

6,900円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。

1日のみの受講や、宿泊されない場合も同額となります。

なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年8月15日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenchu@jiam.jp [主 題] JIAMセミナー申込

令和4年

10月

3日(月)

11:00~ 入寮受付・昼食
 13:00~ 開講式
 13:15~14:45 講義 大規模災害に備えて—想定外は起きた

元復興庁事務次官・市町村職員中央研修所 学長 岡本全勝氏

15:05~16:35 講義 災害に強いまちづくり
 関西大学社会安全学部 特別任命教授 河田惠昭氏
 16:45~ 入寮オリエンテーション
 17:30~ 交流会

令和4年

10月

4日(火)

9:00~10:30 講義 行政の危機管理
 ~相次ぐ災難への対応と「ピンチをチャンス」に変えるまちづくり~
 福島県福島市長 木幡浩氏
 10:50~12:20 講義 ウェルビーイングな働き方と日本の未来
 株式会社YeeY 共同創業者／代表取締役 島田由香氏
 12:20~12:30 閉講・事務連絡

元復興庁事務次官・市町村職員中央研修所 学長 岡本全勝氏

1955年奈良県明白香村生まれ。東京大学法学部卒、旧自治省に入省。鹿児島県財政課長、富山県総務部長、総務省交付税課長、内閣総理大臣秘書官、自治大学校長を務め、2011年に東日本大震災被災者生活支援本部事務局次長、以後、復興庁統括官、復興庁事務次官、内閣官房参与・福島復興再生総局事務局長と10年近く復興に従事。2021年より現職。著書に、「東日本大震災 復興が日本を変える—行政・企業・NPOの未来のかたち」(ぎょうせい)、「明るい公務員講座」(時事通信社)等がある。専門誌『地方行政』(時事通信社)に「公共を創る-新たな行政の役割」を連載中。



関西大学社会安全学部 特別任命教授 河田惠昭氏

社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。2007年国連SASAKAWA防災賞、2009年防災功労者内閣総理大臣表彰、2010年兵庫県社会賞、2014年兵庫県功労者表彰、2016年土木学会功績賞、2017年アカデミア賞、2018年神戸新聞平和賞、2022年河川功労者表彰。日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。著書:「これから防災・減災がわかる本」(岩波ジュニア新書)、「スーパー都市災害から生き残る」(新潮社)、「12歳からの被災者学—阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵」(共著)(NHK出版)、「津波災害」(岩波新書)、「にげましょう」(共同通信社)、「津波災害(増補版)」(岩波新書)、「災害文化を育てよ、そして大災害に打ち克て 河田惠昭自叙伝」(ミネルヴァ書房)など。



福島県福島市長 木幡浩氏

1960年福島県生まれ。1984年東京大学経済学部卒業、同年自治省入省。国、地方自治体で、地方行財政や地域振興、健康福祉、危機管理等を幅広く担当。岡山県副知事、消防大学校長、復興庁福島復興局長を経て、2017年12月より現職(二期目)。東日本大震災からの復興創生はもとより、相次ぐ災難(コロナ、台風、地震、農作物被害等)や東京2020、朝ドラ「エール」などをバネとして、新機軸の施策を展開し、「世界にエールをおくるまち」を目指している。



株式会社YeeY 共同創業者／代表取締役 島田由香氏

慶應義塾大学卒業後、パソナを経て、コロンビア大学大学院にて組織心理学修士号取得。日本GEにて人事マネジャーを経験し、2008年ユーリーバ・ジャパン入社。2014年より取締役人事総務本部長に就任。人のモチベーションに着目し「WAA」など独自の人事施策を多数実行、同社はForbes WOMEN AWARDを3年連続受賞。2017年に株式会社YeeYを共同創業し代表取締役に就任。マーティン・セリグマン博士などウェルビーイング研究の世界的権威を招聘したカンファレンスを行うなど、日本企業や社会のウェルビーイングリテラシー向上に貢献。企業の経営支援や人事コンサルティングなどを通じて、日本企業のウェルビーイング経営実現に取り組んでいる。また、自身も1年の半分近くをワーケーション先で過ごすなど地域活性に情熱を燃やし、地方自治体の組織コンサルティングやワーケーションなどのコンテンツ開発支援、地域住民のウェルビーイングを高める仕組みづくりを行う。内閣官房 行政改革推進会議 委員。「国際女性デー | HAPPY WOMAN AWARD 2019 for SDGs」受賞。



● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

©Hiroyuki Uchiumi

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	6-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年9月29日

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 10,200 円

但し、

令和4年度市町村議会議員研修[3日間コース]「人口減少社会における議会の役割」

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和4年9月29日

〒520-0106

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所

分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 267

使途項目	研修費	整理番号
		6-2

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項： JIAM 研修「人口減少社会における議会の役割」

目的地： 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) (大津市)

期間： 令和4年10月11日～10月13日 (3日間)

(1) 交通費 7,622 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R4/10/11	自宅～JIAM 研修所 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
R4/10/13	JIAM 研修所～自宅 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
合計			7,622 円

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円×泊

(実費の上限は、14,800円)

合計 7,622 円

注意 交通費及び宿泊費の算出については、東員町議會議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

[政務活動費の手引き P10 (2)]

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	令和4年10月11日(火)～10月13日(木) (3日間)	
研修（視察）先	全国市町村国際文化研修所 (JIAM)	(大津市)
目的（テーマ等）	人口減少社会における議会の役割	
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ	
資料添付の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

<研修概要・内容>

〈第1講義〉

10月11日(火)

「地方行政の現状と課題～2040年を見据えて～」

講師；穴戸 邦久 氏

新潟大学 副学長・経済科学部教授

◎人口減少時代にどう向き合うか

新潟県人口 249万人(1997年)→

170万人(国立社会保障人口問題研究所の推計2045年)

●人口減少＝地域社会に様々な影響や課題を生じさせる。

◎人口を維持することだけが「人口減少対策」ではない。

令和2年度から「まち・ひと・しごと創生総合戦略」第2期スタート

・「人口減少抑制対策」……出生支援、移住促進→これが効果を上げるのは20年後

・「人口減少による諸課題への対策」……住民にとっての切実な課題

★地域の声に耳を傾け、課題にきちんと対応していくべき

・空き家対策・地域交通の維持・伝統文化の消滅

★★抽象的な概念に泊まっている人口減少問題や地方創成を、

住民の皆さんに「わがこと」と思ってもらい、心に響く施策としていくこと。=地域に根差した課題や強みに住民自身が気付き、口に出して顕在化させ、共有していくことが重要！

住民から引き出し、地域や住民を巻き込むことで自然と動く施策となっていく！」

住民の「わがこと」が動く施策になる

3つの改革=★地方分権改革 ★市町村合併 ★行政改革

↓地域を次世代に引き継ぐために

これからの中間は二刀流=住民との対等・協力の関係による
「双方向、説得と対話」「共感型」

従来は『指示・監督型』…災害対応や定型的な業務では効果的

◎「地域を次世代に引き継ぐ」ことこそ普遍的なミッション

〈第2講義〉

10月11日(火)

「過疎地域の持続可能なまちづくりを目指して」

講師；石山 志保 氏

福井県大野市長

住み続けたい結のまちを目指して

～人と自然が共に生きていける持続可能な地域づくり

◎人口減少対策の取組

第1期大野市総合戦略

・安定雇用の創出

(団地整備、企業への支援、若者への支援、女性起業支援)

・結婚・出産・子育て (子育て世代応援券交付、婚活イベント等)

・新しいひとの流れをつくる (移住、定住)

・時代に合った地域づくり (「水の聖地」を目指し、市民・企業と協議)

第2期大野市総合戦略

稼ぐ力の向上

・高速交通アクションプログラム (道の駅の整備、

「日本一きれいな星空」、産業ブランド力向上)

健康寿命延伸医療費削減

・健康のまちづくり (歩くことから始める)

子育て支援の充実

・すくすく子育て応援パッケージ

・教育委員会に児童福祉行政を集約化

新たな施策パッケージ

●デジタル化 ●脱炭素 ●移住定住 ●高齢者の安心・生きがい

●地域づくり・高齢化による自治会の担い手不足

→市内9つの公民館（学校区）を中心に住民主体の地域課題解決が持続的に行われる体制をつくる

〈第3講義〉

10月12日（火）

「わがまちの在りたい姿（ビジョン）を考える

倉阪 秀史 氏

千葉大学大学院社会科学研究院

〈第4講義〉

10月13日（木）

「人口減少社会における議会の役割」

講師：木寺 元 氏

明治大学政治経済学部 教授

◎自治体の数だけ多様な地方議会、課題はそれぞれである。

◎女性は政治を変えるか？

・女性の政治関心を高めるためには、文化的規範における役割規範（政治や理数系科目は男性のもの）を変え、早い段階での女性の政治への進出を促

す必要

- ・政治家集団の二極化は、単純に政策の差異によってもたらされるものや、お互いに口汚く罵るような非礼さによってもたらされるものがある。
- ★政党や会派の対立を乗り越え、政策討議を行い、議会として一定の結論を得て首長と対峙する姿を目指すべき

<所感・活用>

「地方分権改革」「住町村合併」「行政改革」の3改革を平成の時代にどこの自治体も検討、取り組んできている。これらの改革の根底にある考えはいずれも『地域を次世代に引き継ぐ』という自治体職員に普遍的なミッションであり、この考え方は現在の地方創生の目的と共に通していると、筋道立てて、改めて学ぶことができました。地域を次世代に引き継ぐことが仕事である、と自分を鼓舞し議員としての職務を果たそうと思います。

木寺先生の講義の「地方議会論」の中で、政治集団の二極化は議長ポストや人間関係等でお互いに罵るような非礼さによってもたらされることがあるが、市民もまた支持者として分極化していくし、市民の政治不信を助長する可能性があり避けるべきであるとお話をされました。町議会議員として真摯に受け止め、政党や会派を乗り越え、初心にかえり、目的を叶えるための努力、効果を表せる政策議論をし、議会として一定の結論を得て、首長と対峙する姿を目指すために、協力していきたいと思います。

受講証明書

団体名：三重県 東員町

所属・氏名：東員町議会 議員 山崎 まゆみ

研修名：令和4年度市町村議會議員研修 [3日間コース]
「人口減少社会における議会の役割」

期間：令和4年10月11日（火）～ 10月13日（木）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和4年10月13日

全国市町村国際文化研修所
学長 植松浩二



令和4年度

市町村議会議員研修[3日間コース]

人口減少社会における議会の役割

高齢者人口がピークを迎える2040年頃までに、少子高齢化社会が招くインフラの老朽化、労働力不足や担い手不足などにより、多くの深刻な問題の顕著化が懸念されています。

この研修では、これらの状況を理解するとともに、人口減少下における地方自治体、地方議会として期待されている役割や今から取り組むべき課題などを考えます。

※本研修は、全国市議会議長会及び全国町村議会議長会との共催で開催します。

研修の ポイント

- 地方行政を取り巻く現状と2040年頃にかけて顕在化する諸課題について学びます。
- 講義・演習を通じて、人口減少社会を見据えた今後の施策について考えます。
- 人口減少社会における議員としての役割や議会の本来のあり方について理解を深めます。

開催要領

日 程

令和4年10月11日(火)～10月13日(木)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰府はできませんのでご注意ください。
過去に受講された方もお申込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によっては、お断りをする場合がありますので、予めご了承ください。

募集人数

60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年8月15日(月)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2~3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

E-mail:kenshu@jiam.jp ホームページ:<https://www.jiam.jp>

令和4年

10月

11日(火)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講式・オリエンテーション

13:00~15:15

講義 地方行政の現状と課題～2040年を見据えて～

新潟大学 副学長・経済科学部 教授 宮戸 邦久 氏

人口減少が深刻化し、高齢者人口がピークを迎える2040年頃にかけて顕在化する地方行政の諸課題についてお話しいただくとともに、自治体戦略2040構想研究会の報告内容なども踏まえ、目指すべき地方行政の姿についてご講義いただきます。

15:30~17:00

講義 過疎地域の持続可能なまちづくりを目指して

福井県大野市長 石山 志保 氏

平成29年に全域が過疎地域に指定された大野市における将来を見据えた対策や今後の方向性、課題等についてご紹介します。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和4年

10月

12日(水)

9:25~17:00

講義・演習 わがまちのありたい姿(ビジョン)を考える

千葉大学大学院社会科学研究院 教授 倉阪 秀史 氏

各種統計データを用いて地域の未来を予測した「未来カルテ」からの気づきから、将来のわがまちのありたい姿について議論し、バックキャスティングの手法を用い、それらを実現するために取り組むべき施策について検討します。

令和4年

10月

13日(木)

9:25~12:00

講義 人口減少社会における議会の役割

明治大学政治経済学部 教授 木寺 元 氏

住民ニーズや地域課題が多様化・複雑化する中、地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要になります。この講義では、人口減少社会において求められる議員の役割や議会のあり方について学びます。

12:00~12:15

事務連絡、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

使途項目	研修費	整理番号	7
------	-----	------	---

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項：日本女性会議 2022in 鳥取くらよし

～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～

目的地：鳥取県立倉吉未来中心（メイン会場）（鳥取県倉吉市）

期間：令和4年10月28日～10月30日（3日間）

(1) 交通費 25,974 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R4/10/28	自宅～鳥取県立倉吉未来中心（鳥取県倉吉市駄経寺町） 往路 351km×@37= 12,987 円	車	12,987 円
R4/10/30	鳥取県立倉吉未来中心（鳥取県倉吉市駄経寺町）～自宅 復路 351km×@37= 12,987 円	車	12,987 円
合計			25,974 円

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円 × 泊

(実費の上限は、14,800円)

合計 25,974 円

注意 交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	令和4年10月28日(金)～10月30日(日) (3日間)
研修（視察）先	日本女性会議 2022in 鳥取くらよし ～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～
目的（テーマ等）	男女共同参画 ●高校生が夢をかなえる第一歩 ●避難行動要支援者について知る ●誰もが生き生きと輝くために、ジェンダー平等 ●アバターコミュニケーションでのジェンダーレス会議 ●弱者が弱者のままで尊重される社会
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ 有 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

<研修概要・内容>

〈第1講義〉

「高校生が夢をかなえる第1歩」

発表者；鳥取県倉吉市内の高校生

講師・助言者；上野 千鶴子 氏（東京大学名誉教授）

米谷 正児 氏（リコージャパン（株））

地元鳥取県倉吉市内の高校に通う生徒が、自主的に課題を研究し持続可能な社会を実現するための解決策を模索しながら、環境保全を自分事として考え、今日からできることを実行していくという高校生や、鳥取を全国に発信していくこうとする高校生もいた。

高校生の発表一つ一つに対しアドバイザー（講師）の上野千鶴子さん、米谷正児さんが質問に丁寧に向き合い、様々なアイデアに富む指摘や助言を伝えるという分科会でした。

〈第2講義〉

「避難行動要支援者について知る～あなたの近くの支援が必要な人へ、いざというときに…」

講師；永田 拓 氏（福）リンク理事長

障がい児・者向けの防災の取り組みや、時間とともに取り残されていく人々（避難行動要支援者）の特徴やその対応について共有し、支援を必要とする方と地域の繋がりの必要性を 2018 年に倉敷市真備町で起こった西日本豪雨災害での体験談を通して学ぶ分科会。

災害時に特に取り残されがちな障がい者、高齢者、外国人、地域内の人間関係が薄い人などを見つけて、支援につなげる仕組みづくり、地域のつながりをつけていかなければいけない。

〈第3講義〉

「アバターコミュニケーションのジェンダーレス会議」

司会；草田 敏生 氏（鳥取県倉吉市地域おこし協力隊）

中口 諒子 氏（〃 人権文化センター指導員）

パネリスト；えばちゃん、えびちゃん、おたねちゃん

鳥取県で活動している VTuber、VTuber 制作も手掛ける地元企業の方、アバター（メタバース内で使用する自分の体、キャラクター）をはじめて使用する方全員が自分のアバターで参加し、ネット上で議論を行う分科会。

年齢、性別、種族等も越えてなりたい自分になれる「アバター」というある意味自己表現のスタイルを利用した、ジェンダーレスなコミュニケーションの可能性について考えた。

〈第4講義〉

「誰もが生き生きと輝くために、ジェンダー平等

～未来に向けて若い世代への応援メッセージ～」

司会；竹尾 征二（日本女性会議 2022 実行委員会企画部会長）

出演；上地 雄輔（タレント）

秀ノ山親方（元大関琴獎菊）

男性も女性もささえあうことが必要不可欠なこの時代の家族の支え合いの在り方、理想の生き方、夢をかなえることについて考える。

〈第5講義〉

基調講演

「男女共同参画に関する最新状況について」

講師：岡田 恵子

内閣府男女共同参画局長

○男女に関する意識

★内閣府が数年おきに行っている世論調査の結果

《平等感》平等だと思う割合 50%（現在 21・2%）

《政治》衆議院（女性議員の割合）9.9%、国際的比較で 166/190 か国

《職場》①国家公務員

近年女性の採用が増えている。採用された若い女性がキャリアを積めるようにしないといけない。

②一般企業

- ・女性就業者の増加
- ・係長の増加で課長、部長と今後増加していくことを期待。
- ・役員も増え、女性活躍のロールモデルも増え、次に働く人も増える。

○ジェンダーギャップ指數

- ・管理職の女性比率が低い・企業が女性活躍に取り組むメリット（投資判断で重視）
- ・役員に女性がいる企業の株価パフォーマンスも高い

○給与額の男女格差

- ・年々縮小しているが国際比較では低い・正規職員同士、非正規同士でも女性が低い⇒この差を見る化すべき

○科学技術分野への女性増やす

- ・科学や技術に性別の視点を入れることにより、イノベーション（新機軸・新しい切り口・新しい捉え方・新しい活用法）が生まれる。

○男性の人生の変化～男性も変わらなければならない

○共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移（共働きがはるかに多い）

ひとり親世帯への支援を充実させる必要がある

○コロナ禍での女性の影響

・家庭内での女性に対する暴力増・DV相談・性犯罪・自殺者増

○「女性版骨太の方針 2022」

記念シンポジウム

「弱者が弱者のままで尊重される社会とは？」

～「一人でも生きていけそう」と言われる私たちの経験から～

パネリスト；上野 千鶴子 氏（東京大学名誉教授）

〃 ；鳥取大学地域学部地域創造コース 学生 3名

幼いころから見てきた自身の母の姿からジェンダーについて興味を持ち、ジェンダーについて研究をしてきた 3 人の学生が自身の経験を語り上野氏とディスカッションする。

<所感・活用>

第1講義：上野先生、米谷先生は高校生たちにその課題と自分自身のこととして向き合うことの必要性や新しい視点を持つことを伝えてくださいました。若い方が自分の身近にある課題を他人事ではなく自分の問題と捉え主体的に動こうとしたとき、その思いを受け止め一緒に学びながら未来に繋がる基盤づくりをしていける社会であるべきです。どんな時も誰もが今いる場所で輝ける、ベストを尽くせる環境の創出が大切です。

第2講義：災害が起こると、誰もが被災者となります。その中でも障がいのある方や、日常生活に困り感を抱える方が有事の際には取り残されてしまいます。また、そういった方々にとっては助けてほしいと声を上げることも勇気がいることなのではないでしょうか。鳥取県は災害時特に取り残されがちな、障がいのある人、高齢者、外国人、地域内での人間関係が薄い人などを見つけて支援につなぐ仕組みづくりを始めたそうです。

誰もが暮らしやすい東員町を作るために、配慮の必要な方々への対応について、なるべく早急に地域のつながり、仕組みを作っていくかなければならないと考えます。

第3講義：VR 空間では相手が実際は男性なのか女性なのかを考えるより先に、キャラクターを一人の人格と捉えて交流すると聞き、驚きました。また、現実世界よりも相手との距離感が近い VR 空間では、アバター同士でのスキンシップも可能で、時には不快になるようなスキンシップを受けることもあるそうで、女性のアバターを使う男性が痴漢やセクハラを受けたことがあると話していました。男性も VR 空間で女性になればセクハラを受ける女性の気持ちが体験でき、現実世界の痴漢やセクハラ防止にも役立つのではないかという話も上がった点は興味深かったです。VR 空間であっても一人ひとり人権があり、必ず尊重されるべきだと思います。さらに、VR 空間上で恋愛をする人もいて、相手アバターの中身の性別は重要ではない、相手の性格を重視すると答える人が多く、VR 空間での恋愛は

純愛で、かつジェンダーレスだと感じました。

第4講義：秀ノ山親方は普段からとにかく褒める子育てをしていると話す姿が印象的でした。自身が相撲の世界に入ったのも、相撲で勝てるようになって褒められたことが嬉しかったからだそうです。現役時代献身的に支えてくれた妻、自分の取組をずっと見ていた息子の存在、支えてくれた周囲の人々の存在に感謝だと。上地さんは夢をかなえるために、自分のためではなく誰かが喜んでくれることを想像しながら少し先の未来を想像して毎日を過ごすとお話しされました。お二人の、人生において今しかないこの瞬間を楽しみ、みんなで支え合い、助け合い、認め合うことを大切にしながら生きていきたいという前向きなメッセージが伝わってきて、テーマである「誰もが生き生きと輝く、ジェンダー平等の社会づくりについてあらためて共感できるお話を聞くことができました。

第5講義：近年頻発する自然災害やコロナ禍では、平常時の社会課題が一層顕著に現れています。男女ともに子育てと介護を両立させながら、安心して暮らし、働き続けられる環境づくりや、ひとり親をはじめとする困難を抱えやすい人たちへの支援を日ごろから行っていくことの重要性が改めて明らかになったといえます。社会情勢の変化や新たに顕在化した課題を見据えて、地域の声や意見を十分反映できるように努めていかないといけないと思います。

記念シンポジウム

当たり前に刷り込まれた価値観、固定観念からの解放は必要。フェミニズムは弱者が強者になるという思想ではなく、弱者が弱者のままで生きられる社会をつくることが目的。

若者たちが自身の生き方を模索し、一步踏み出そうとする力を持つこと、「地元を良くしたい」という郷土愛を持つことで、地域の「人口減少」の課題を解決していく。それを感じられた、非常に心強いメッセージを上野教授からいただきました。男女共同参画のワークショップなどに参加される人の年代が高齢化して、なかなか広がらないと思っている中、今回の鳥取県で開催された『日本女性会議』では、著名な上野千鶴子東大名誉教授がオンラインで参加されるシンポジウムで若者が主体的に地域のこと、自身の生き方を考えたり、国の男女共同参画の施策日手の説明や、「被災時の要援護者の避難」について考えたり、メタバースというゲームやアニメの世界観に基づく、どちらかというと若い人にしか理解できないような分野の中での多様性についての思考ができたりと、とても充実した内容で、参考にさせていただくことが多かったです。地域での活動にぜひとも反映させたいと思います。特に、「若者世代のまちづくりへの参画」について、参考にさせていただこうと思います。



日本女性会議 2022 in 鳥取くらよし

Smile in くらよし

～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～

2022年10月28日金▶30日日

会 場

鳥取県立倉吉未来中心(メイン会場)
鳥取短期大学・倉吉交流プラザ、
上灘コミュニティセンター・関金地区

交流会
会 場

ホテルセントパレス倉吉(メイン会場)
倉吉シティホテル・打吹回廊、
倉吉市関金都市交流センター

主 催

日本女性会議2022 in 鳥取くらよし実行委員会・倉吉市



大会ホームページ

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	8 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年10月24日

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 2,000 円

但し、

令和4年度町村議會議員特別セミナー(オンライン)

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和4年10月24日

〒520-0106

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所

分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 338

〔政務活動費の手引き P10 (2)〕

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	<u>令和4年10月25日（火）～10月26日（水）</u> 【 2 日間】
研修（視察）先	《オンライン》 全国市町村国際文化研修所（JIAM）
目的（テーマ等）	JIAMオンライン研修 「町村議會議員特別セミナー」 ～まちづくり、地域づくり他～
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	○ 有 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名： 山崎 まゆみ 〕

【研修概要、内容】

第1講義 10月25日（火）

「まちづくりは人づくり」

講師；壬生 照玄 氏

長野県高森町長

◎行政がすること、町民が頑張ることを明確にし、「頑張ると言ってくれる人財（人材）を育てる！

〈町民の理解〉

・まちづくり懇談会のやり方改善・・

できてないことの指摘や要望から、町の地域の将来を考える場へ！

・学びと実践の場づくり・・

信州たかもり塾中小学校

町民活動の支援（相談・金銭）

◎地方創生について考える

中央集権（1945年終戦から）→地方分権（1975年頃以降）→

＜東京一極集中の歯止めがきかない＞＜2014日本創生会議から

消滅自治体リストが公表＞＜若年女性の首都圏への流出と、
首都圏での未婚率＞地方創生—「まち・ひと・しごと創生法」
制定→国・県・町など総合戦略を策定し、目標を持ち、地方の
独自性を持った取り組みにより、人口の流れを食い止める。

「消滅自治体リスト」=2010年の国勢調査に基づいた資産で、今の
まま、若者が流出し、2040年時点で20~39
才の女性人口が半減する自治体を「消滅可能性都市」とみなしている。つまり地方で
女性が減少し、出生数が減り、人口が1万人
人切ると自治体経営そのものが成り立たなくな
くなると示し、全国1,800市町村のうち約
半分に相当する。

◎幸せな生活とは？（幸福度指数の定義）

●健康…健康センター、医療機関、介護施設

●家計…働く場、買い物

●家…持ち家

●子育て・教育…子育て拠点、地域人教育

●ゆとり・レジャー…美しい景観、レジャー

●安全・安心…災害の起こらないまち、環境にやさしいまち

◎改めて地方創生って何？

★そこに住む人たちがその町を好きになる

⇒町への「義務や負担」を果たす

⇒町の活性化を「自分たちで考え、行動する」

⇒行政が「プレイヤーからマネージャーに」

●子供の笑顔輝く ●大人の充実が満ちる ●シニアが益々充実

●多様性のある

●成長する（住みやすい社会インフラ、安定した財政基盤、防災）

●ネウボラによる子育て支援

★★★★なぜ議員になったのか？

・その時のマニュフェスト、約束はあるか？実現したか？

実現したらその後どうするか？

・議員も住民の代表——行政への具体的な提案（住民と話し合いの中で決められたもの）しているか？

・施策の立案・実行が行政任せになっていないか？

（ダメな例；コロナだからなんとかしてほしい

ダメな例；住民が結構反対しています

まちづくりは住民・議員・行政と三身一体でやるもの！！

第2講義 10月25日（火）

「体験的な学びを通した地域づくり」

講師；高野 孝子 氏

特定非営利活動法人 ECOPLUS

◎変動性・不確実性・複雑性・曖昧性 の現代に

未来を切り拓くために重要なのは⇒⇒子ども・若者・チャレンジメーカーを見出し、支える。

地域づくり==課題や問題に主体的に協力し、対応しようとする。

（収入、防災、福祉、教育 etc）に安心し、幸福感、豊かさ

を感じられる（自己効力感、生きがいが感じられる）

未来への希望がある

地域資源・自然環境を活かす==社会問題や地域課題を解決

・・・これが日本全体のサバイバルにつながる

町村地域も変わらなくては、

価値観のシフトは両サイドで

・気候変動への対応（緩和と適応）

・優劣ではなく、独自性

・そこにあるものの価値を見出す努力、あるものを知恵で育てる。

・新しいことにチャレンジする意欲・変化を受け入れるオープンさ。

★★★地域づくりは幸せ磨き

- 第3講義 10月26日(水)**
「地域の発展にスポーツや大学ができること」
- 講師；石井 智氏
びわこ成蹊スポーツ大学 副学長
- ◎スポーツは現代社会（少子高齢化・withコロナ・DX…）にこそ活きるもの
青少年育成・健康寿命延伸・ウェルビーイング
- ◎方法はいくらでもあるが、大事なことは、町は今どうなっていて、これからどうしたいのか？問題の本質を明らかにし、ビジョンを掲げ共有し、戦略を練り、組織を作り、実行すること。
- ★「世界で一番住みたい、訪れたい、健康なまち」の創造
健康寿命の延伸、青少年が育つ・高齢者が意欲を持つ居場所と出番、「地域」の価値再起動、地域のリノベーション、レジリエンス
- Walking about@**
地域の魅力や課題を再発見し、これから地域のあり姿をデザインし、都市経営課題解決案につなげることを目指している。
- ◎びわこ成蹊スポーツ大学で行っている社会貢献活動
イベント活動を企画実施
スポーツボランティアの育成
先生方の研究成果を社会に活かす
「滋賀国体」を通じて滋賀を「健康なまち・住みたいまち・訪れたいまち」にリノベートする
- ◎スポンサーシップから「パートナーシップ」へ
価値
地域社会 ⇄ 企業・大学
投資
- 地域・企業・大学の持続可能な発展に必要な「本質」とは？
企業はそもそも創業者が「問題を解決したい」という思いで立ち上げたもの
→これらの企業のミッションは、地域社会の課題を解決すること
大学で蓄積された「知」は社会課題を解決してはじめて価値をもつ
- 第4講義 10月26日(水)**
「文化から学ぶ地域」
- 講師；本郷 和人 氏
東京大学資料編纂所 教授
- ◎地域・地方の姿を見て、日本全体を考える
◎西国は先に開けた（博多→瀬戸内海→京）
「山陰地方」や「裏日本」「表日本」という表現は良くない。
戦国時代までは逆だった。日本海側の交易が富をもたらした。

百姓は農民とは限らず、商人でもある。そんな人が山陰地方に沢山居た。
直江津、出雲は戦国時代はとても豊かな地域であった。

◎歴史を見ると栄枯盛衰があるが、それを踏まえて地域振興に取り組んでいくべきである。

【所感と今後の活用】

本研修では、まちづくりや地域づくりの取組の中で、町村議会議員に求められる役割を考えるため、様々な分野で活躍されている講師陣の講義をオンラインで受講しました。

現職長野県高森町町長の講義はパワフルでした。議員である自分も、今後は提案型を中心として政策作りにからんでいきたいと思います。地域創生について、改めてお話しいただいた内容として、「そこに住む人たちがその町を好きになることが地方創生である」と同時に、町民が「町への義務や負担を果たす」、「町の活性化を自分たちで考え、行動する」、「行政がプレイヤーからマネージャーに」というフレーズは、腑に落ち、納得しました。若者の流出を防ぐことの重要性を痛感しました。

石井副学長の講義では、大学生が町政に関われる、直接つながれる機会を持ちたいと思い、将来的に地域課題を大学生の若い視点と一緒に解決してけたら良いと思います。「これから企業のミッションは、地域社会の課題を解決することである」という点もまちづくり・地域づくりと企業との連携の重要性を再認識できました。

本郷教授の講義の中では、その地域の歴史から、地域の成り立ちや文化、人の関り、風習を見つめてみること。そして歴史は新たな町づくりに役立つヒントがたくさんあると思いました。

令和4年度

町村議会議員特別セミナー

地域の活性化や住民のニーズに合致したまちづくりのあり方が課題となっている中、住民の代表である町村議会議員の果たすべき役割はますます大きくなってきています。

本セミナーでは、各分野でご活躍されている講師の方々にご講演いただき、まちづくりや地域づくりの取組の中で、町村議会議員に求められる役割について考えていきます。

開催要領

日 程

令和4年10月25日(火)～10月26日(水)(2日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰府はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講

40人 ※途中退所や一時帰府はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講

20人 ※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」とともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) (来所受講のみ) ※外泊はできません。

経 費

来 所 受 講:6,900円

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講:2,000円

申込期限

令和4年9月7日(水)まで

申込方法

- 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
- 来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申し込みください。
「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申し込みください。
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2~3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和4年
10月
25日(火)

11:00~	入寮受付・昼食
13:00~	開講式・日程説明
13:15~14:45	講義 まちづくりは人づくり
	長野県高森町長 壬生 照玄 氏
15:05~16:35	講義 体験的な学びを通して地域づくり
	特定非営利活動法人 ECOPLUS 代表理事 高野 孝子 氏
17:30~	交流会
9:00~10:30	講義 地域の発展にスポーツや大学ができるここと
	びわこ成蹊スポーツ大学 副学長 石井 智 氏
10:50~12:20	講義 文化から学ぶ地域
	東京大学史料編纂所 教授 本郷 和人 氏
12:20~12:30	閉講、事務連絡

令和4年
10月
26日(水)

※オンライン受講者のウェビナー受付時間は、10月25日(火)12:30~12:55、10月26日(水)8:30~8:55となります。オンライン受講者の交流会はございません。

講師紹介

長野県高森町長 壬生 照玄(みぶ しょうげん)氏

1970年生まれ。高森中学校～長野県飯田高等学校、大東文化大学文学部卒業。1994年高森町役場に勤務し税務課に配属、全国初納税相談システムを株式会社電算と共同開発、2000年よりまちづくり研究室（総務課）、IP電話システムを採用したCATV事業を担当。2009年より教育委員会（2012年より事務局長）、高森中学校改築事業、高森町いじめ防止条例制定、2014年より経営企画課（室）長、まちづくり基本条例制定、第6次振興総合計画、地方創生総合戦略、土地利用計画、景観計画の策定等に携わる。2018年に高森町長に就任、2021年度 第16回マニフェスト大賞・優秀賞（首長部門）受賞。2022年に再選（現在2期目）。趣味はスポーツ鑑賞、バーボール、ゴルフなど。座右の銘は、「忘己利他」（伝教大師最澄）。



特定非営利活動法人 ECOPLUS 代表理事 高野 孝子(たかの たかこ)氏

(特活)エコプラス代表理事、立教大学客員教授、元早稲田大学教授。エジンバラ大学Ph.D.。野外・環境教育、社会学や人類学など分野横断的な実践的研究を進める。アマゾン川下りや北極海犬ぞりとカヌー横断など、地球上各地での自らの遠征や少数民族との旅の経験を踏まえ、90年代初めから「人と自然と異文化」をテーマに、地球規模の教育プロジェクトの企画運営に取り組む。体験からの学びを重視し、「地域に根ざした教育」の重要性を提唱している。社会貢献活動に献身する女性7名に向けた「オメガアワード2002」を猪方貞子さんや吉永さゆりさんらと共に受賞。2016年春期早稲田大学ティーチングアワード受賞、2017年ジャパンアウトドアリーダーズアワード（JOLA）特別賞、2018年国際キャンプ協会バタフライアワード、2019年GLSIドラゴンフライアワードほか。環境ドキュメンタリー映画「地球交響曲第7番」に出演。（公社）日本環境教育フォーラム専務理事など。



びわこ成蹊スポーツ大学 副学長 石井 智(いしい さとし)氏

奈良県立郡山高校、同志社大学、大阪ガス株式会社、2017年よりびわこ成蹊スポーツ大学。第50回選抜高校野球大会8強、第一回大学選抜北海道大会優勝、都市対抗野球大会出場、同志社大学硬式野球部監督（平成5年～8年 平成5年関西学生野球リーグ秋季リーグ戦優勝、神宮大会出場）日本野球連盟アシスタントコーチ（日本、キューバ親善国際試合コーチ全日本代表B（大学生主体）コーチ（1992年 第16回オランダハーレムベースボール大会優勝）。（共著）同志社スポーツ政策フォーラム編『スポーツの法と政策』ミネルヴァ書房、横山勝彦、来田宣幸編著『ライフスキル教育』昭和堂、横山勝彦、八木匡、松野光範編著『スポーツの組織文化と産業』晃洋書房、菊幸一、齋藤健司、横山勝彦編著『スポーツ政策論』成文堂。



東京大学史料編纂所 教授 本郷 和人(ほんごう かずと)氏

1960年、東京都生まれ。東京大学文学部、同大学院で石井進氏、五味文彦氏に師事し日本中世史を学ぶ。専門は中世政治史、古文書学。博士（文学）。史料編纂所では『大日本史料 第五編』の編纂を担当。2016年、『現代語訳 吾妻鏡』（全巻17冊、吉川弘文館）で第70回毎日出版文化賞（企画部門）を五味氏らと受賞。著書に『中世朝廷訴訟の研究』（東京大学出版会）、『日本史のツボ』（文春新書）、『歴史のIF（もしも）』（扶桑社新書）、『誤解だらけの明智光秀』（マガジンハウス）など多数。



● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	9-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年12月21日

領 収 書

東員町議会 山崎 まゆみ 様

金額 10,200 円

但し、

令和4年度図書館とまちづくり

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和4年12月21日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 337

使途項目	研修費	整理番号	9-2
------	-----	------	-----

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項： JIAM 研修「令和4年度 図書館とまちづくり」

目的 地： 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) (大津市)

期 間： 令和5年1月10日～1月12日（3日間）

(1) 交通費 7,622 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R5/1/10	自宅～JIAM 研修所 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円
R5/1/12	JIAM 研修所～自宅 往・復 103 km ×@37=3,811	車	3,811 円

(2) 宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円 × 泊

(実費の上限は、14,800円)

合計 7,622 円

注意 交通費及び宿泊費の算出については、東員町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定を準用する。(日当は含めない。)

[政務活動費の手引き P10 (2)]

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	令和5年1月10日（火）～1月12日（木）（3日間）	
研修（視察）先	全国市町村国際文化研修所（JIAM）	（大津市）
目的（テーマ等）	図書館とまちづくり	
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ	
資料添付の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 無	

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

<研修概要・内容>

〈第1講義〉

1月10日(火)

「まちづくりと図書館の接点」

講師；糸賀 雅児 氏

慶應義塾大学 名誉教授

図書館＝社会教育のための機関である（社会教育法第9条）

公民館や博物館と並ぶ社会教育機関の一つ

21世紀に入ってからは、図書館＝「まちづくり」の一環

=人の動線演出、賑わい創出

○16歳以上対象、直近利用した施設

第1位 図書館(43・2%) 第2位 博物館・美術館・公民館(19・2%)

図書館利用は年代を超えて広がっている。

10代の利用が多い(50・5%)のは学習のため

◎図書館＝いわゆるハコモノではなく、利用率が極めて高く、多くの住民に存在やサービス内容を認知された公共施設である。

=中心市街地の、^{すうよう}枢要な場所に配置することで、文化的情報発信。

人の流れを変え、商業の活性化を後押し。

広い範囲から集まる人達の利用を誘発、図書館への行政効果を高める。(例「せんだいメディアテーク」、「武藏野プレイス」)

↑ ↑ ↑ ↑
文科省の国庫補助利用

による建設、

↑ ↑ ↑ ↑
自治省の地域総合整備事業債(地総債)

活用した「ふるさとづくり事業」

→図書館単独の施設建設というより、福祉施設やスポーツ、
体育施設などと一体の「まちづくり」として施設整備が進められる。

最近では国交省による「社会资本整備総合交付金」なども奨励している。

●2,003年「改正地方自治法」施行により、「指定管理者制度」導入

★首長が町づくりの視点で図書館を見る場合＝集客力に注目(にぎわい創出、商業的なもの)

★図書館関係者や住民の視点で図書館を見る場合＝商業的でなく、普遍的なものとして

→→→利用者に精神的・情緒的な充実感や多様な学びが生まれる。〈社会教育が目指す形〉

★★★「まちづくりの再定義」=住民本位の施策展開

- 住民の幸せ度、満足度の充実 ○行政と市民が課題や目指す方向性を共有
- ◎まちづくりとは、市民が市に関心と愛着を持ち、よりすみよいまちにする取組
- ◎まちづくりを支える図書館の特性
- ◎本来、図書館は「まちづくり」だけでなく、「地方自治」、「生涯学習」、「情報社会」といった「地域の情報拠点」として考えるべき。

〈第2講義〉 1月11日(水)

事例紹介 ~わたしたちの図書館をつくる

「住民とつくる図書館～鹿児島県指宿市立図書館～」

講師 ; 下吹越 かおる

特定非営利活動法人 本と人とをつなぐ「そらまめの会」理事長
指宿市立指宿図書館 館長

2007年から指定管理者として「そらまめの会」が運営している。

- ・図書館の主役は市民 ・地域住民からの図書館の信頼と期待
- ・レファレンスの充実 ・多様な学びを提供する学習支援
- ◎「学校図書館と公共図書館の連携の薄さ」を問題視し、「学校図書館司書」との連携サポート体制からのスタート。“図書館を支える会”という任意団体をつくる。→指定管理者となり、事業展開スタート。

〈第3講義〉

1月11日(水)

~わたしたちの図書館をつくる

「まちのランドマーク図書館～みんなの森ぎふメディアコスモス～」

講師 ; 吉成 信夫 氏

みんなの森 ぎふメディアコスモス 総合プロデューサー
(岐阜市立中央図書館)

建築家、伊藤豊雄氏による施設（岐阜産ヒノキ使ったなどらかな曲線を描く格子屋根に包まれた広い空間、明るく美しい）の中に岐阜市立図書館公募に応募し、館長に就任。

年間120万人以上の人人が来館する話題のスポット。

- 最初のターゲットは子ども、図書館に来ない子どもにも思いを続ける
- 「子ども司書」認定制度
- 以前は市民活動が盛んだったが、いまはそこまで元気がない。
- それよりも個々の人たちの生活の中から出てくるテーマをつなぎ合わせていく方が活力がある。

〈第4講義〉 1月11日（水）

～わたしたちの図書館をつくる

「まちに参画する図書館～みんなの図書館さんかく～」

(静岡県焼津市 ローカルな商店街の一角にある私設図書館)

講師：土肥 潤也

みんなの図書館さんかく館長

公共性の再構築とコミュニティ形成のための場としての図書館

オーナーが棚に好きな本を置いて貸し出し（1箱本棚オーナー制度）

- 市民自治の拠点をつくる
- ビジネスとしての対象としての顧客は「本棚オーナー」
- いろいろな人が集まる場所
- 利用者のニーズは、居場所・人との関りを求めている。
- 自分の選んだ本を置きたい、
- コロナ禍、人とのつながりが遮断されていたからこそ、人間関係や自分を見つめ直す時期であった
- ◎社会に対し、オナーシップをもって、自分たちの課題は自分たちで解決しようという感覚で
- ◎「小さな公共」みたいなものがまちのあちこちに点在する社会
- ◎多様性のある「居場所」づくり、子どもから大人まで思い思いの過ごしができる。

〈第5講義〉

1月11日（水）

「図書館を活かしたまちづくり」

～図書館を核とした まちづくり～

講師：平賀 研也 氏

県立長野図書館 前館長

① まちづくりの課題と視点

- ・2010年代から「にぎわい創出、交流」目的の図書館。
全国的に平均して、中位規模の図書館で、人口の15%くらいが図書貸し出しを利用している。
- ・図書館は公立施設で最も多くの人が訪れる施設
- ・利用の無料原則を掲げる図書館は直接的経済効果は生まない
- ◎にぎわいの先にある何がまちづくりの目的なのか今一度考えて議論し実践すべき。

② 公共図書館のこれまで

- ・90年代後半からの地域格差の広がり。

- ・公営組織の法人化・民営化。
- ・2000年代後半には団塊世代の労働市場からの退場（2007～）に加え、少子化による人口減少（2009～）が始まり、経済と社会規模の縮小。
→「地方再生」が国の政策課題に
- ・「まち・ひと・しごと創生（地方創生）」（2014～）
- ・公共施設の更新・統廃合・長寿命化

『公共施設等総合管理計画の策定養成』（2014年総務省）

PFIによる図書館施設の整備

- ・住民参画の元、自治体基本計画、施設計画の策定
- ・新たなコミュニティ初発「コミュニティデザイン」や「リノベーションまちづくり」が脚光浴びる
- ◎「図書館を核とした街づくり」を掲げるなら「誰が」「誰とともに」「どんな価値を創造するか」の視点で具体的に持続的に考え続けなければならない

③ 公共図書館のこれからの視点

2020年は「図書館法」施行70周年

- ・「日本国憲法」、「教育基本法」、「社会教育法」に次ぎ制定されたもの。
- ・「図書館の貸し出し」「徹底した児童サービス」「地域全域に対するサービス」
- ・インターネット普及によるついでいうデジタル情報へのアクセス
- 「役に立つ図書館」への転換を求められる。（ビジネス支援、医療情報支援、バリアフリーサービス、子どもの探求的学習に資する資料、プログラム整備）
 - (1) デジタルシフト
 - (2) 主体の転換
 - (3) コミュニティ形成への関与

④ 共通言語を獲得するために

- ⑤ 「計画」—「建設」—「運用」等の各段階で、参画プロセスを途切れさせないこと…多様なプレーヤーが参画する多様な営みづくり
====「まちづくり」の一つの側面であり続けなければならない
- ◎地域において、知識や情報を交換し、蓄積することを本質とする図書館の機能・装置が果たす役割

<所感・活用>

地域で必要とされる図書館とはどんなものなのか、図書館が担う新たな役割についてや、町の特徴を活かした図書館の事例などをもとに、図書館とまちづくりの関係、可能性について考えました。参加者としては、実務にあたってみえる「司書」の方、館長さんの方、社会教育の職員の方、議員の35名が全国から集ま

りました。

「まちづくり」と「図書館」の違いについても整理できた気がします。

特に事例紹介の取組がわかりやすく、今後の図書館の在り方について学べました。参加者の地域の実情は様々でしたが、意見交換の機会に、課題解決のヒントが得られました。3日間受講生の皆さんには熱心な方ばかりで、講義の学びが多く、内容が濃く、参考にさせていただけることが多かったです。当町の施設の在り方についての検討に活かしていこうと思います。

受講証明書

団体名：三重県 東員町

所属・氏名：東員町議会 議員 山崎 まゆみ

研修名：令和4年度図書館とまちづくり

期間：令和5年1月10日（火）～ 1月12日（木）

上記の研修を受講したことを証明します。

令和5年1月12日

全国市町村国際文化研修所
学長 植松 浩



令和4年度

図書館とまちづくり

公共施設としての図書館の機能と役割について、近年そのあり方が見直されつつあります。公共施設の集約化、複合化が進められる中、まちの賑わいや再生を目指す地域活性化の核として図書館が注目されており、各自治体で様々な取組が進められています。

この研修では、地域で必要とされる図書館とはどのようなものか、サービスの拡充はもとより、まちづくりの主体となる人々が集う交流拠点として、どのような役割を果たすことができるのか、その可能性について考えます。

研修の ポイント

- 図書館の現状と課題を学び、まちづくり活動の拠点としての図書館のあり方について考えます。
- 住民をはじめとした様々な主体が、積極的に図書館の運営等に参画している事例から、成果や課題等を学び、今後の取組について考えます。
- 演習による討議を通じ、図書館を活かしたまちづくりを考え、実践につなげます。

開催要領

日 程

令和5年1月10日(火)～1月12日(木)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

図書館や地域活性化(再生)事業に携わる市区町村の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますので、ご留意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集中

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

10,200円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。

なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年11月22日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL 077-578-5932 FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

1月

10日(火)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講・オリエンテーション

13:00~15:35
講義 まちづくりと図書館の接点

慶應義塾大学 名誉教授 糸賀 雅児 氏

図書館はかつての「読書の場」から「地域の情報拠点」へと進化し、まちづくりとの接点を広げつつあります。2021年のデジタル庁の発足やSociety5.0の到来を目前に、まちづくりに限らない図書館との接点の多様性を考えます。

15:50~17:00
演習 意見交換

慶應義塾大学 名誉教授 糸賀 雅児 氏

受講者の皆さんから「まちづくり」のイメージや考え方を話してもらい、それらをもとに図書館とまちづくりの接点を広げる手法や、首長部局との連携をさぐる道すじについて意見交換を行います。

17:30~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和5年

1月

11日(水)

9:00~12:00

事例紹介

午前中は、3つの事例紹介と質疑応答／意見交換を実施します。

県立長野図書館前館長 平賀研也氏にコーディネーターとしてご指導いただきます。

13:00~17:00
講義・演習 図書館を活かしたまちづくり

県立長野図書館 前館長 平賀 研也 氏

グループに分かれ、住民の求める図書館とはどのようなものか、各自治体にとってふさわしい図書館の姿を講義と演習を交えながら考えます。

9:25~12:00
演習 発表・講評・まとめ

県立長野図書館 前館長 平賀 研也 氏

前日に討議した内容を発表し、全体で共有します。発表に対し、講師からの講評及び質疑応答を行い、理解を深め、3日間のまとめとします。

12:00~12:30
ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	10 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年1月4日

領 収 書

東員町議会 山崎まゆみ 様

金額 2,000 円

但し、

令和4年度第3回市町村議会議員特別セミナー(オンライン)

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

令和5年1月4日

〒520-0106

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団

全国市町村国際文化研修所

分任出納役 梅村 徹弥

領収書No. 364

[政務活動費の手引き P10 (2)]

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書〔政務活動費充当研修〕

研修期間	令和5年1月23日（月）～1月24日（火） 【 2 日間】
研修（視察）先	《オンライン》 全国市町村国際文化研修所（JIAM）
目的（テーマ等）	JIAM オンライン研修「市町村議会議員特別セミナー ～ベーシックサービス宣言、介護、 ヤングケアラー、ひきこもり～
参加議員名 (複数の場合記入)	山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ • 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名： 山崎 まゆみ 〕

【研修概要、内容】

1月23日（月）第1講義

「ベーシックサービス宣言～分かち合いが変える日本社会～」

講師；井出 英策 氏

慶應義塾大学経済学部教授

◎日本の社会保障は、先進国で上位から15位。

一見すると豊かに見えるが…ほとんど高齢者に向かったもので、現役世代にはほとんど政府からの給付無し。

◎日本の貧困率=9位/OECD32カ国。 世帯収入300万円未満が31%。

共稼ぎ世帯60%増 ⇔ 勤労者世帯収入は1997年水準に届かず

※所得のピーク（1998年から減少）

～貧しい人の割合増、

◎ユニコーン企業=米国369社、中国138社、インド32社・・・日本5社

◎限界にきている『経済』

◎弱い立場にある人たちを放置する社会と言える日本

「弱者を助けることを政府が考えるべきである」と思わない日本人、

弱者に無関係で、格差を是正しようとしない

→→このような社会を、これから時代を担う子どもたちに残していくわけにはいかない！！！！

★★国民皆が安心して暮らせるように、国は責任を持つべき！！！！

=すべての人たちへの保障を！

すべての人たちの権利を保障していこう！

ベーシックサービスの理論

=誰もが生存に必要なサービス

医療・教育・介護・障がい者福祉などへの“アクセス保障”へ

◎何がベーシックサービスなのか？ ==それは論理ではなく、対話で決まる

決められたサービスではなく、

人間に不可欠なニーズを追い求める。

◎尊厳を平等にせよ！ ベーシックサービス+品位ある最低保証

★中間層の生活保障で、働けない人たちへの寛容さを引き出す政治戦略

★人間を救済の屈辱から解放し、万人の尊厳を平等化するという哲学

◎痛みと希望を分かち合う

連帶の社会へ！

◎財源問題からの逃走は、社会を破壊する！

痛みと未来への希望

を仲間と分かちあうことこそが連帯のビジョン

◎どれくらいの負担か？

財源論から逃げず、きちんと議論する！！

- ・消費税なら+6%

◎税と給付の全体で考える

○貧困と不平等の削減にもっとも成功したすぐには、富裕層に課税し、貧困層に与えることで、それをやり遂げたのではない。

◎いざれも財源は増税という提案・・無償化政策

ベーシックサービス革命

◎格差の是正は目的から結果に

◎<自己責任モデル>将来不安から消費が過小に、過剰貯蓄で消費が減少している

<ベーシックサービスモデル>税を子育て・教育・医療・介護に使う

=支出が財政を健全に

◎悲しみの連鎖を断つ勇気を！！

・格差是正、成長を結果に変えて、他者への信頼が自分の幸福と調和する

・子どもはコストではなく、愛しみの対象に変わる

・電力やプラスチックを消費する必要のない社会

◎理不尽への怒りと終わりなき対話へ

==財政健全化の考えを変える。ベーシックサービス=先進国の常識

1月23日(月) 第2講義

「一人ひとりの個性を尊重する“あおいけあ流”的介護の世界」

講師：加藤 忠相 氏

(株)あおいけあ 代表取締役

◎介護保険 第2条 第2項

前項の保険給付は、要介護状態等の『軽減または悪化の防止』に資するよう行われるとともに、医療との連携に十分配慮して行わなければならない。

◎介護保険 第2条 第4項

第1項の保険給付の内容及び水準は、被保険者が 要介護状態となった場合においても、可能な限り、その居宅においてその有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるように配慮されなければならない！

◎療養上の世話 → 自立支援 → 尊厳を支える → 地域包括ケア

1963年「老人福祉法」施行 → 2000年「介護保険法」→ 2003年「高齢者介護研究会」→
→ 2010年「地域包括ケア研究会」

◎記憶の種類から考えるケアの在り方

- ①意味記憶
- ②エピソード記憶
- ③手続き記憶
- ④プライミング（呼び水）記憶

◎「お互いさんケア」==自立支援を促す（欠損部分の補填ではない）

1月24日（火） 第3講義

「楊不ケアラー支援の課題と支援のあり方」

講師；堀越 栄子 氏

一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事/

日本女子大学名誉教授

- 1、ヤングケアラーはどのような子どもなのか、現状や抱える問題と課題
 - ケア責任が不適切 ●過度なケア
 - 2、ヤングケアラーひとり一人を支えるには、子どもの権利を守るという視点と、子どもの健やかな育ちの視点が、大事であることを理解する
 - ケアを必要としている人の増加 ●様々な年齢のケアラーが、様々な年齢の人をケアしている。
 - 3、ヤングケアラーを社会全体で支援するための課題、包括的な支援策について検討する
 - 学校生活への影響 ●ヤングケアラーの孤独・孤立
 - ★ヤングケアラーはケアラーである前に、成長過程にある子ども
 - ★若者ケアラーはケアラーである前に、自分の足で人生を歩み始めたばかりの若者
 - ◎子どもがケアすることを否定しない
 - ◎ヤングケアラーは見すごされ易い（見ようとしないと見えない存在）（見ようとしても見えにくい存在）
 - 4、自治体に必要な支援方針・体系について考える（ヤングケアラーパー個人の支援、家庭の支援、社会環境づくり）
 - ◎教員、学校が変わる…身近な存在としての学校、地域社会に根付いた学校としての利点
 - ◎子どもが自分自身のための時間と場所を確保できる場になれる
 - ◎連携が必要…学校だけの支援には限界、専門職・専門的機関との連携
(相談窓口、指針やマニュアルがあると良い)
 - ◎社会構造的な問題
 - ・子どもの親世代の雇用、経済面の不安定さがあるという指摘（地域経済、産業、雇用政策）
- ★★★子どもの権利を守るという視点～子どもの権利条約における基本的な権利
☆☆☆権利が侵害されている可能性、原因を特定するツールも大事！
- ◎子どもの健やかな育ちの視点=ヤングケアラーがライフチャンスを平等に持ち、潜在能力を最大限開花できること。

ヤングケアラーに必要な社会的支援

★★★大人社会からのメッセージの発信

「あなたはヤングケアラーとして、大人のケアラーと同じことをするべきではありません！また誰かのけあをするために、あなたの時間を多く使うべきでもありません。」

- ① ヤングケアラー支援の 方針を定める
- ② " の 社会認識を広める
- ③ " 本人に「助けてもらう自立」についてと、人生の選択肢をもって良いことを伝える。
- ④ 社会全体で支援する枠組みと支援策を立案する
- ◎ケアラーを支援する法律や条例を制定する（公布）

ヤングケアラー支援施策の4つの柱

- ① 早期発見、アセスメントを行い、支援
- ② 学びの機会とその結果の改善
- ③ 支援ニーズに対応するサービスの開発と、それへのアクセスを保障
- ④ 自律して社会生活を送れるように支援

1月24日（火） 第4講義

「ひきこもり本人や家族が必要とする支援と地域の役割」

講師；池上 正樹 氏

ジャーナリスト/特定非営利法人 KHJ 全国ひきこもり家族会
連合会広報担当理事

- ひきこもりについては、近年対策が進められてきたが、殺傷事件なども起きて、マイナスイメージも強い。
- 誰からも理解されない苦しみの中でもがいでいる本人と、限界を感じてしまう家族。誰にも相談できない家族。→ひきこもりの長期化（悪循環）
- 当事者たちの内実は多様で、中には発達障害のために引きこもりになっている人、軽度な知的障害で社会適応が難しくなった人も少なくない。
- 従来の「社会からの脱落者、なまけ者」というイメージでなく、「繊細で優しい感性の人が生きにくい要因が社会にある。
- 「生きにくい要因」のない社会をつくることがみんなにとっても「生きやすい社会」につながる。

○ひきこもり支援施策

厚労省

- (1) ひきこもり地域支援センター設置運営事業
- (2) ひきこもりサポーター養成研修、派遣事業

内閣府

(1) 「子ども・若者育成支援推進法」

地域若者サポートステーション（15～39歳）

「断らない相談支援」

市町村がワンステップで対応→地域包括支援センター

支援者としての心構え

- ・支援者がひきこもりの人の生きづらさ、引きこもらざるを得なかつた気持ちを理解する
- ・部屋から出てこなくなることを「問題」ととらえるのでなく、「苦しさの自己表現」「心の叫びSOS」としてとらえる
- ・家族の気持ちを理解し、家族支援を基盤とする
- ・解決を焦らない

居場所の役割

- ① 安心できる場 ②存在が認めてもらえる場 ③相談できる場 ④同じ思いを共有できる仲間がいる場

発達に心配な子どもを支えていくには

- ① 特性の強みは伸ばす
② 弱みは社会的に許容される形でのスキルを身につける

「死にたい」が意味すること

- 暴力の被害経験によるトラウマがあるケースもある
- 「死にたい」という言葉が意味するもの→本人が勇気を振り絞って出して必要な叫び
- 正しく生きようとしすぎないことが大切

【所感と今後の活用】

本研修では、まちづくりをテーマに様々な分野の第一線でご活躍の講師陣に、最近のあちこちの地域での課題、問題をテーマにした、中身の濃い研修でした。

財政学については難しいのですが、井出先生の財政学の書籍購入して読んだこともあり、オンライン講座の受講を楽しみにしていました。生きづらさを抱える人が多い現在であるが、次の世代の子どもたちの代に渡すまでに、私たちが考え、変えていかないといけないこと。日本を、地域を、もっと生きやすい社会にして、次世代に渡さなければなりません。弱い立場にある人達を放置せず、救済し、すべての人の権利を保障していくという考え方である「ベーシックサービスの理論」が今回の講座でよくわかりました。地域で財政についての議論に参考にさせていただけます。

最近マスコミででもクローズアップされている「ヤングケアラー」の問題についても、今回の講座で配慮すべき点から必要なことまで、支援策、事例なども掲

げられ、多くのことを学べました。

新型コロナウィルス感染症拡大に伴い、「孤独・孤立・ひきこもり」が深刻化しています。令和3年2月に政府が「孤独・孤立対策担当室」が内閣府に設置されました。コロナ禍による影響は、子どもたちにも及び、孤独や孤立を感じる子どもたちが増えました。そんな子どもたちの不安や悩みに寄り添うためには、ライフカウンセラー事業の実施が求められます。孤独、孤立については、高齢者や若者層の消費者被害やトラブルも増えていますが、多くは誰にも相談できずに泣き寝入りとなることで、孤立感孤独感が一層深まって生活困窮や命の危機に繋がります。ひきこもり本人や家族に対し、地域でできることや支援について、ひきこもりの当事者をご家族にもたれた講師のお話は身に迫るものがありました。引きこもりの相談の入り口はやはりまず、家族からということで、家族会などに参加してもらえるよう、最初の一歩で支援につなげられるのであるが、焦らず、行きつ戻りつで息の長い支え合いの体制が必要であることも参考になります。「ひきこもりの人たちが生きやすい社会は、誰もが生きやすい社会である」という講師の言葉に感銘を受けました。

地域で「ヤングケアラー」、「ひきこもり」に関する支援を考えるときに、参考にさせていただけけるエッセンスをたくさん学ぶことができ、有意義でした。



令和4年度

第3回

市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回のセミナーでは、「福祉」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方から講演をいただき、改めてわがまちの現状を見直し、今後の未来と地方議員に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 程

令和5年1月23日(月)～1月24日(火)(2日間)

開催要領

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村議会議員

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

来所による受講 150人

※途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

オンラインによる受講 50人

※オンラインについては、ビデオ会議システムZoomを使用します。機材(1人1台)やインターネット接続のための環境が必要です。詳しくはZoom公式サイトをご参照ください。

「来所による受講」、「オンラインによる受講」とともに、募集人数を大幅に上回るお申込をいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) (来所受講のみ) ※外泊はできません。

経 費

来所受講： 6,900円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

オンライン受講： 2,000円

申込期限

令和4年11月22日(火)まで

※先着順のため、申込期限前に締め切らせていただく場合がございます。

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

来所による受講とオンラインによる受講を選択できますので、どちらか一つのみお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申ください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

E-mail:kenshu@jiam.jp ホームページ:<http://www.jiam.jp>

令和5年

1月

23日(月)

11:00~
入寮受付・昼食13:00~
開講式・日程説明13:15~14:45
「ベーシックサービス宣言～分かち合いが変える日本社会～」

慶應義塾大学 経済学部教授 井手 英策 氏

15:05~16:35
「一人一人の個性を尊重する「あおいけあ流」の介護の世界」
株式会社あおいけあ 代表取締役 加藤 忠相 氏17:30~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和5年

1月

24日(火)

9:00~10:30
「ヤングケアラー支援の課題と支援のあり方」

一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事／日本女子大学名誉教授 堀越 栄子 氏

10:50~12:20
「ひきこもり本人や家族が必要とする支援と地域の役割」

ジャーナリスト／特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事

池上 正樹 氏

12:20~12:30
閉講・事務連絡

講師紹介

慶應義塾大学 経済学部教授 井手 英策(いで えいさく) 氏

1972年生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。日本銀行金融研究所、東北学院大学、横浜国立大学を経て、現在、慶應義塾大学経済学部教授。専門は財政社会学。総務省、全国知事会、日本医師会、全労済協会等の研究会座長・委員のほか、朝日新聞論壇委員、毎日新聞討論フォーラム委員なども歴任。著書に『どうせ社会は変えられないなんてだれが言った?』(小学館)『経済の時代の終焉』(岩波書店)ほか多数。2015年度大佛次郎論壇賞、2016年度慶應義塾賞を受賞。

株式会社あおいけあ 代表取締役 加藤 忠相(かとう ただすけ) 氏

東北福祉大学社会福祉学部社会教育学科卒業。大学卒業後に横浜の特別養護老人ホームに就職。3年後退職し、2001年に株式会社あおいけあを設立。「グループホーム結」「デイサービスいどばた」「おたがいさん」「おとなりさん」を営業。2012年11月「かながわ福祉サービス大賞～福祉の未来を拓く先進事例発表会～」において大賞受賞。

NHK「おはよう日本」「あさイチ」「時論公論」「プロフェッショナル仕事の流儀」等テレビ番組、各種新聞、雑誌等で多数特集、映画のモデル事業所にもなっている。「日経ビジネス」～次代を創る100人 2017～に選出。

一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事／日本女子大学名誉教授 堀越 栄子(ほりこし えいこ) 氏

1974年以降、日本女子大学で教育研究に携わる一方で地元(埼玉県)の市民活動に参加し、2000年前夜からは「NPO支援のNPO」の設立に加わり、市民自治を進める活動を行なっている。2010年には、「ケアラーを社会で支えるしくみを作ろう」と、日本ケアラー連盟を設立し、代表理事の1人となる。設立以降、全国2万世帯のケアラー実態調査、自治体でのヤングケアラー調査等を行い、日本の多様なケアラーの現状を把握し、ケアラーを社会的に支援する必要性や支援策、法制化・条例化について社会に発信し、国や自治体に提言を行っている。埼玉県ケアラー支援条例、さいたま市ケアラー支援条例の制定にも積極的に関わり、現在は「埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議」の委員を務めている。

ジャーナリスト／特定非営利活動法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事 池上 正樹(いけがみ まさき) 氏

25年にわたり数千人の「ひきこもり」当事者とやりとりしてきた。また、「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」を発足当初からサポートし、家族の相談にも乗ってきた。東京都町田市ひきこもり専門部会委員、江戸川区ひきこもり支援協議会委員、厚労省ひきこもり広報事業企画検討委員会委員等。2012年から10年間開催した対話の場「ひきこもりフューチャーセッション庵」運営者の1人。江戸川区ひきこもりオンライン居場所コーディネーター。NHK『クローズアップ現代+』『あさイチ』はじめ、テレビやラジオに多数出演。Nスペドラマ「こもりびと」、NHK土曜ドラマ「ひきこもり先生」等の監修も務める。著書は『レポ「8050問題」～高齢親子“ひきこもり死”の現場から～』(河出書房新社)、『ルポひきこもり未満』(集英社新書)、『大人のひきこもり』(講談社現代新書)など多数。日本文藝家协会会员。

●研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	研修費
参考様式2の「整理番号」	11-1 ※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和5年1月26日

領収証

ADVENTURE skyticket

山崎まゆみ 様

NO. 1512243

¥4,100-

但し、高速バス利用代金として

入金日：2023/01/26

発行日：2023/01/28

支払い方法：クレジットカード

左記、正に領収いたしました

〒150-6024

東京都渋谷区恵比寿 4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー 2F

発行元：株式会社アドベンチャー

お問い合わせ先：スカイチケットカスタマーサービス

URL: <https://skyticket.jp/bus/>



令和4年度 町村議会広報クリニツ（2023年2月14日）出席
交通費（往路）の一部（名古屋→東京 高速バス乗車）

領収証

ADVENTURE skyticket

山崎まゆみ 様

NO. 1512244

¥4,100-

但し、高速バス利用代金として

入金日：2023/01/26

発行日：2023/01/28

支払い方法：クレジットカード

左記、正に領収いたしました

〒150-6024

東京都渋谷区恵比寿 4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー 2F

発行元：株式会社アドベンチャー

お問い合わせ先：スカイチケットカスタマーサービス

URL: <https://skyticket.jp/bus/>



令和4年度 町村議会広報クリニツ（2023年2月14日）出席
交通費（往路）の一部

(東京 → 名古屋
高速バス乗車)

使途項目	研修費	整理番号	11-2
------	-----	------	------

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

参考様式 4

活動旅費明細書(令和4年度)

議員名 山崎まゆみ

研修事項：令和4年度 全国町村議会広報クリニック

目的地：全国町村議員会館（東京都）

期間：令和5年2月14日（1日間）

（1）交通費 円

(交通費内訳)

日程	区間	交通手段	交通費
R5/2/14	自宅～全国議員会館 城山2丁目 ⇄ 名古屋（三交バス） ① 1,200円×2=¥2,400	三交高速バス、 高速バス	
	名古屋 ⇄ 東京駅 (スカイチケット高速バス) ② 4,100円×2=¥8,200	地下鉄	11,260円
	地下鉄（東京 ⇄ 半蔵門）③ 330円×2=¥660		
$\textcircled{1} + \textcircled{3} = 2,400 + 660$ $= 3,060$			
合計			11,260円

（2）宿泊費 0 円

(宿泊内訳) 実費 円 × 泊

(実費の上限は、14,800円)

合計 11,260 円

[政務活動費の手引き P10 (2)]

令和5年4月7日

東員町議会

議長 山本 陽一郎 様

東員町議会 議員 山崎まゆみ

研修報告書 [政務活動費充当研修]

研修期間	<u>令和5年2月14日（火）</u> 【 1 日間】
研修（視察）先	全国町村議員会館（東京都）
目的（テーマ等）	令和4年度 全国町村議会広報クリニック 北信越・東海・近畿地区 第2分科会 ～議会への理解と関心をひろげる広報のために～
参加議員名 (複数の場合記入)	東員町議会広報広聴委員会委員長；廣田 久男 東員町議会広報広聴委員会副委員長；山崎 まゆみ
資料添付の有無	④ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

[議員氏名： 山崎 まゆみ]

「令和4年度 全国町村議会広報クリニック

～議会への理解と関心をひろげる広報のために～」

——広報をリ・デザインする-----

講師；吉村 潔 氏

【研修概要、内容】

効果的な編集・レイアウト

(1) メディアを活用し、広報広聴計画を再設計しましょう

◎多くの住民がより関心をもつ広報を目指す

- ・かつて→議会や地域社会に関心を持つ個人や団体が読んでくれた
- ・今 後→子育て世代、若い世代、議員候補、関係人口の人々に読まれるよう

◎多様なニーズに応える（紙で読みたい、ネット、バリアフリー）

- ・印刷物
- ・映像
- ・音声
- ・字幕
- ・点字など

◎議会ICT（録画配信、タブレット議会、電子会議録）

○広報紙づくりにもICT

写真動画撮影、編集作業（情報検索、テキスト作成、レイアウト）

URLを2次元コードに変換、支援ツール（パブリッシャーなど）

○一方、ネットを利用しないシニア層も少なくない

○これからは、リアル×ネットのハイブリッド型へ

◎議会だよりの位置づけは？

★住民・関係者とより良い関係を築き、より良いまちづくりへつなげる

議会だより（発行義務なし）・ 報告書等（情報公開・ 会議録（公文書）

★★★読みたくなる、論理的（わかりやすい）、客観性、資料性、正確性、記録性、

★広報紙のコンテンツ・まとめ方も変化してきた

閉会中の活動・連載——連載、トピックス、追跡、調査・視察

定例会関連——一般質問、委員会審査、議案審査

特集、表紙

議会視点 × 住民目線

★広報への住民参画

意見交換会、懇談会、議会モニター、広報モニター、

地域活動住民グループ、まちの声、移住者の声、ロゴ作成、写真イラスト

★紙媒体の一貫性を活かした、優れた編集・デザイン

(2) より効果的な工法のポイントを実例をまじえ、みていきます

目次、表紙（地元の人の笑顔、色使いを抑える、文字は墨、白抜き、同系色）

特集（情報の重要性を伝える、議会や地域活動を考えるきっかけに）

予算・決算（議会の役割を伝える）、議案審議（クローズアップ）

一般質問（資料・写真の充実）、定例会以外（独自のコンテンツ）

（議会の持続的な取り組みを発信していく）

●定例会で決まったことの報告

●持続可能なまちづくり、議会のビジョンと活動

（3）議会広報クリニック

○要点をわかりやすく ○議会の役割、視点が伝わる

○議会への関心を広げる ○住民意見の反映 ○住民参加

○メディア連携

《東員町議会だよりの評価》

- ・一般質問のインデックスを設けてもよい
- ・一般質問のQの文字のふちどりはなくす
- ・議会だよりアンケートの実施を「意義がある」と評価された
- ・追跡の記事の評価もいただけた
- ・委員会活動の報告記事に、議会の視点や意見が薄い
- ・見出しと写真がわかりやすいと評価
- ・毎号の特集記事が有ると良い

【所感・活用】

他町村の議会よりも見ながらの講師の批評は、非常にわかりやすく有益なアドバイスが多かったです。東員町議会だよりについては、高評価をいただきました。更に良くするヒントも教えて下さったので、さっそく次号から取り入れることができることから、挑戦していこう、改良していけたらと思います。

町民の皆さんのが、議会活動に関心を寄せていただけるように、住民の方に手に取っていただき、中身をすべて読み進んでいただけるように、引き続き、親しみがあり、読みやすく、わかりやすくかつ洗練された議会だよりの編集を目指していこうと思います。

全国町村議員会館を訪れたのは初でした。また研修などの機会に訪れたいと思います。

B-3

令和4年度 2023.2.14
町村議会広報クリニック

**議会への理解と関心を
ひろげる広報のために**
PUBLIC RELATIONS

吉村 淳 エディター・広報アナリスト

令和4年度 町村議会広報クリニック

【北信越、東海、近畿地区】

【第二分科会】

**令和5年2月14日(火)
全国町村議員会館**

全国町村議會議長会

〔議員氏名：山崎 まゆみ〕

領収書等添付一覧(令和4年度)

使途項目名	資料購入費	支出	理番号
年月日	支出内容	支出	理番号
R4.4.28	月刊誌「女性のひろば」2022年4月～2023年3月 12か月分	3,792	1
R4.10.3	書籍代「社会福祉小六法2022/令和4年版ミネルヴァ書房」	1,687	2
R5.1.16	書籍代「地方自治と図書館」	2,000	3
R5.2.26	パンフレット「ゆめバのじかん」	800	4
R5.3.4	書籍代「三重の女性史」	2,000	5
R5.3.20	書籍代「エクセル超入門」	550	6
R5.3.30	新聞購読料「日曜版赤旗」11月～3月、(5か月分)	4,650	7
			8
			9
			10
			11
			12
			13
			14
合計		15,479	

支出にかかる領収書等の貼付にあたり、添付事項を一覧に整理し、領収書等貼付用紙の表紙として活用してください。

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	資料購入費
参考様式2の「整理番号」	※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年4月28日

<p>日本共産党発行 しんぶん赤旗 領収書</p> <p>3,792 円</p> <p>年 月分</p> <p>上記の金額をしきにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p>「赤旗」四日市出張所 〒510-0064 四日市市新正4丁目21-11 TEL 059-351-8184</p> <p>2022/4/28</p>		
<p>※ 領収書等は、重ねず貼ってください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。</p>		
使 途		
按 分 率 等 (按分の支出の場合)		
そ の 他		

女性の
ひろば

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	資料購入費
参考様式2の「整理番号」	2
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する	
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和4年10月3日	

amazon.co.jp

注文番号 503-2460503-1021459の領収書
このページを印刷してご利用ください。

発行日：2023年2月4日
注文日：2022年10月3日
Amazon.co.jp 注文番号：503-2460503-1021459
ご請求額：¥1,687 ✓

2022年10月3日に発送済み

注文商品

1点 社会福祉小六法2022[令和4年版], ミネルヴァ書房編集部
販売: アマゾンジャパン合同会社

コンディション: 新品

お届け先住所：
山崎まゆみ
511-0233
三重県員弁郡東員町城山1-24-5

※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途	
按 分 率 等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	

2022

ISBN978-4-623-09309-0
C3036 ¥1800E



9784623093090

定価(本体1,800円+税)



1923036018001

Handy Compendium
of
Japanese Laws on
SOCIAL
WELFARE

社会福祉小六法

2022

[令和4年版]
ミネルヴァ書房
編集部



Handy Compendium of Japanese Laws on
SOCIAL WELFARE



ミネルヴァ書房編集部[編]

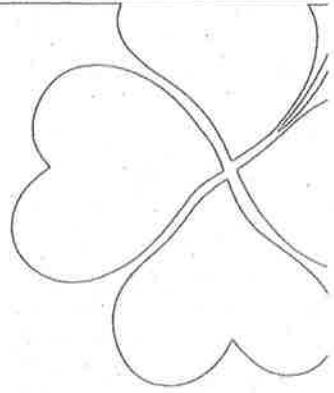
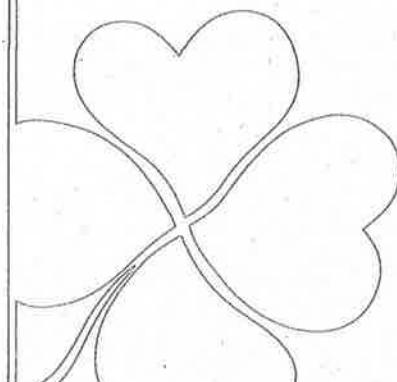
社会福祉小六法

2022

[令和4年版]

最新版を最も便わる小六法

最新版を最も便わる小六法



領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使途項目	資料購入費
参考様式2の「整理番号」	※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和5年 / 月 / 16日

領 収 証

山崎まゆみ

様

3384

No.

★¥2,000

但書籍代「地方自治と図書館」(税込)

2023年(月)16日 上記正に領収いたしました



内訳

税抜金額

消費税額等(%)

取入
印紙

コクヨ ウケ-65

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1

株式会社 効草書房

03-3814-6861



※ 領収書等は、重ねずに貼ってください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途

按分率等

(按分の支出の場合)

そ の 他

地方自治と
図書館

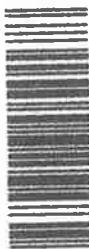


ISBN978-4-326-05017-8

C3000 ¥2300E

定価(本体2,300円+税)

勁草書房



9784326050178



1923000023000

地方自治と図書館

「知の地域づくり」を
地域再生の切り札に

片山善博
糸賀雅児

地方自治と 図書館

片山善博
糸賀雅児

「知の地域づくり」を
地域再生の切り札に

勁草書房

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使 途 項 目	資料 購入費																						
参考様式2の「整理番号」	4																						
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する																							
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和 5年 2月 26日																							
<p style="text-align: center;">山崎まゆみ <領収書> 様 2月26日</p> <table border="1"> <tr><td>月分会費</td><td>1300円×</td><td>名</td></tr> <tr><td>月分会費</td><td>800円×</td><td>名</td></tr> <tr><td>(P)</td><td>レット</td><td>800</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td>800 円</td></tr> </table>			月分会費	1300円×	名	月分会費	800円×	名	(P)	レット	800										合計		800 円
月分会費	1300円×	名																					
月分会費	800円×	名																					
(P)	レット	800																					
合計		800 円																					
<p>子育ち広場..ドロップin 四日市市富田1丁目8-11 TEL/FAX 059-363-3728</p> 																							
<p>※ 領収書等は、重ねず貼ってください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。</p>																							
使 途																							
按 分 率 等 (按分の支出の場合)																							
そ の 他																							

ゆめべのじかん

「ゆめべのじかん」自主上映会のご案内

「ゆめべのじかん」は、安心できる子どもたちの居場所の大さを描いた映画で、たくさんの人がつながっています。『ゆめべのじかん』は、安心できる子どもたちの居場所の大さを描いた映画で、たくさんの方に見て頂きたいと思いつ、「自主上映」の募集を致します。上映会を通じて、新たな出会いや地域コミュニティのつながりが生まれます。映画の上映は一人ではできません。事前の準備や運営など、お手伝い合いで、収益の分配について等、みんなの想いを話し合える場を作れば嬉しいです。運営など、お手伝い合いで、収益の分配について等、みんなの想いを話し合える場を作れば嬉しいです。

※2022年10月より募集開始予定(近畿の映画館での上映が終了次第)。詳細は随時お問合せ下さい。

上映料

※1日の上映最低保証料金 50,000円(税込)

※1日に何回上映しても基本上映料は50,000円(税込)となります。2日目以降は基本上映料30,000円(税込)になります。

○最低保証料金(100人以下)もしくは入場客数×500円(100人以上)の金額が算出になります。

入場者数×500円の金額 < 最低保証料金(上記金額) の場合は最低保証料金をお支払いいただきます。

入場者数×500円の金額 > 最低保証料金 の場合は入場客数×500円が上映料になります。

(例) 入場者数40人 → 100人以下なので最低保証料金50,000円

(例) 入場者数200人 → 200人×500円=100,000円(入場料が無料、無料に間違はず)

※同じように、2日上映する場合は160人、3日上映する場合は220人を超えた場合、入場料数×500円が上映料となります。

※同じように、2日上映する場合は220人を超えた場合、入場料は変更なりませんのでご注意ください。

上映用脚本監督の脚本希望について

・パンフレット(豪華版640円／1冊)

・パンフレット(豪華版800円／豪華版専用、脚本原稿可)

※パンフレットは豪華版になります。豪華版へ豪華版脚本を上院料と一緒にご送付下さい。差額分は一括にて精算頂き、残款は上院料と併せて一緒にご返却下さい。原稿手数料としてお読み下さい。

上映用脚本について

上映用の素材は下記をご用意しております。会場の状況に合わせてお

・お申込・お問合せ後、予定の確認・調整を行い、Eメールまたは電話でご連絡いたします。

・2～3週間後で、お電話でも連絡がない場合は、お手数ですが下記までお問合せ下さい。

・必ず事前に上映会スケジュールの確認をお願いします。映画館での上映を配布させていただいている地域も、映画館により次、自主上映会の受付を開始します。

・映画館での上映が終了した地域、映画館での上映が行われない地域も、劇場情報に記載がない地域でも、劇場公開を予定している地域もございまして詳細はお問合せ下さい。

・先に開催地での自主上映会のお申込みがあった場合、そちらが優先となりますので、上映日の調整をお願いする場合があります。

・予めご了承下さい。

・公式HPのスケジュール表には掲載されていない上映会もござりますので、必ず事前のご連絡よろしくお願いいたします。

※各自にてチラシ等を作成される場合は、使用可能な画像、チラシデータを無断でお貸出し下さい。

詳しいことは別途お問合せ下さい。

上映会のお申込とお問合せ

製作・配給：ノンテラコ(担当：大浦) #161-0034 東京都新宿区上落合2-28-27
TEL: 090-9304-3275 上映会専用E-mail: yumejanikan@gmail.com

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使 途 項 目	資料購入費
参考様式2の「整理番号」	5

※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する

領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和 5 年 3 月 4 日

領収証

山崎まゆみ

様

金額

2,000.-

但、『三重の女性史』代として

2023年3月4日

上記正に領収いたしました

三重の女性史研究会

イベント会誌等頒布担当

佐藤ゆかり



※ 領収書等は、重ねずにつけてください。

また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。

使 途

按 分 率 等

(按分の支出の場合)

そ の 他

三

重
性

の

女

ト性

女

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

領 収 書 等 貼 付 用 紙 (令和4年度)

使 途 項 目	資料 購入費
参考様式2の「整理番号」	7
※ 使途項目ごとに「整理番号」を配番する	
領収書・その他証拠書類 貼付欄 (支出年月日) 令和5年3月30日	
<p>日本共産党発行の しんぶん赤旗 領 収 書</p> <p>山崎栄み 様</p> <p>新聞・雑誌名 部数 金額</p> <p>「しんぶん赤旗」日曜版 930 4,650 円</p> <p>2022年11月・12月 2023年1月・2月・3月 合計 54ヶ月分</p> <p>2022年11月 2023年3月 年 54ヶ月分</p> <p>上記の書類をいかにいただきました。 ありがとうございました。</p> <p>「赤旗」四日市出張所 〒510-0064 四日市市新正4丁目21-11 TEL 059-351-8184</p> <p>領收書 2023年3月30日</p>	
※ 領収書等は、重ねずにつけてください。 また、本用紙1枚に貼れない場合は、複数枚に貼ってください。	
使 途	
按 分 率 等 (按分の支出の場合)	
そ の 他	